

平成20年度全国学力・学習状況調査 第二次分析結果

H20.11.28(金)
教育庁指導課

調査の実施

1 調査の目的

全国的調査により、これまでの教育施策や指導法の成果と課題の検証と改善を図る。

2 調査日

平成20年4月22日(火)

3 参加状況(公立・国立・私立を含む。)

学 校 種	参加対象校数	実 施 校 数	参加児童生徒数	昨年度の 参加児童生徒数
小学校	417校 (413校)	417校 (413校)	18,577名 (18,288名)	17,951名 (17,669名)
中学校	173校 (163校)	167校 (158校)	17,106名 (16,356名)	16,557名 (15,832名)
特別支援学校	4校 (4校)	4校 (4校)	32名 (32名)	16名 (16名)
総 計	594校 (580校)	588校 (575校)	35,715名 (34,676名)	34,524名 (33,517名)

数値は、4月22日(火)に調査を受けた県内の学校数・児童生徒数
括弧内の数値は、公立の学校数・児童生徒数

分析結果の概要

1 正答数の分布状況(正答設問数ごとの児童生徒の割合)

- (1) 市部と郡部の状況
- (2) 教育事務所ごとの状況

2 各教科の領域・観点別の平均正答率の状況

- (1) 市部と郡部の状況
- (2) 教育事務所ごとの状況

3 学校の分布状況(平均正答率別の学校の割合)

4 児童生徒質問紙と学力調査との相関

5 学校質問紙と学力調査との相関

6 解答率と質問紙との相関

- (1) 児童生徒質問紙との相関
- (2) 学校質問紙との相関

7 習熟度別指導と平均正答率との相関

- (1) 習熟度別指導実施校と未実施校との比較
- (2) 習熟度別指導実施校における状況

学力向上の取組

- 1 第一次発表で公表した取組
- 2 新たに加えた取組

分析結果の概要

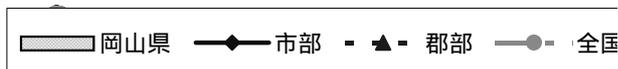
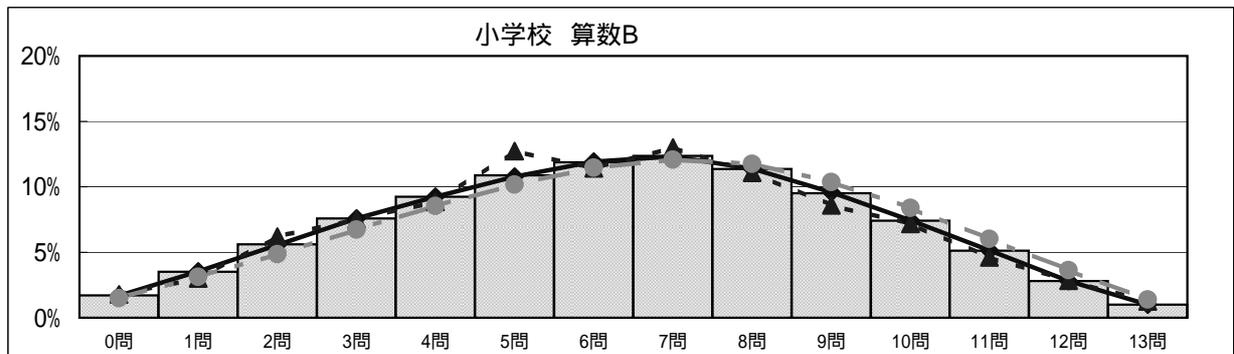
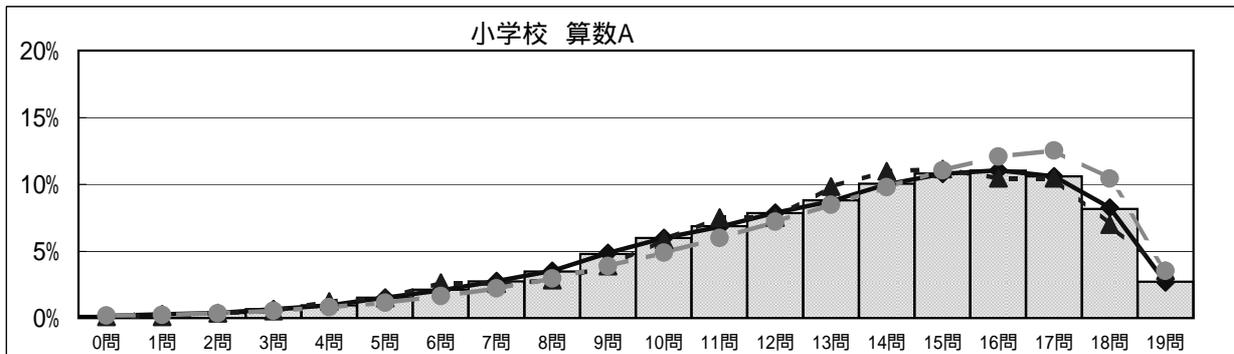
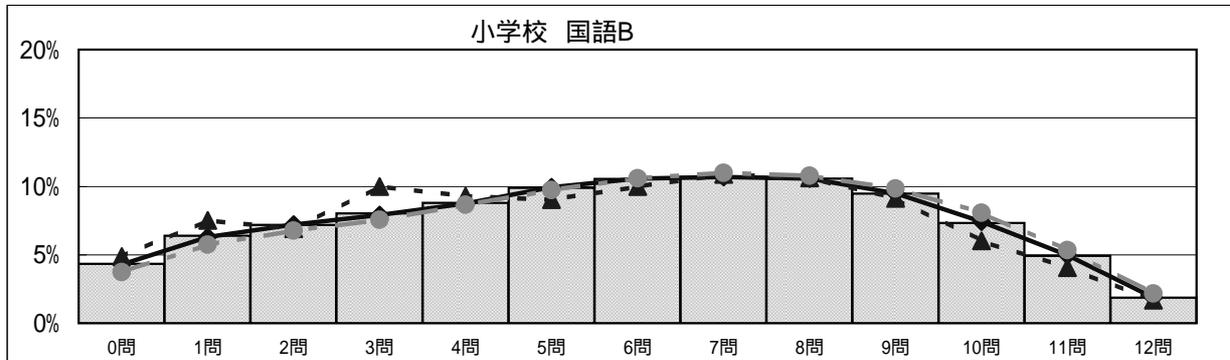
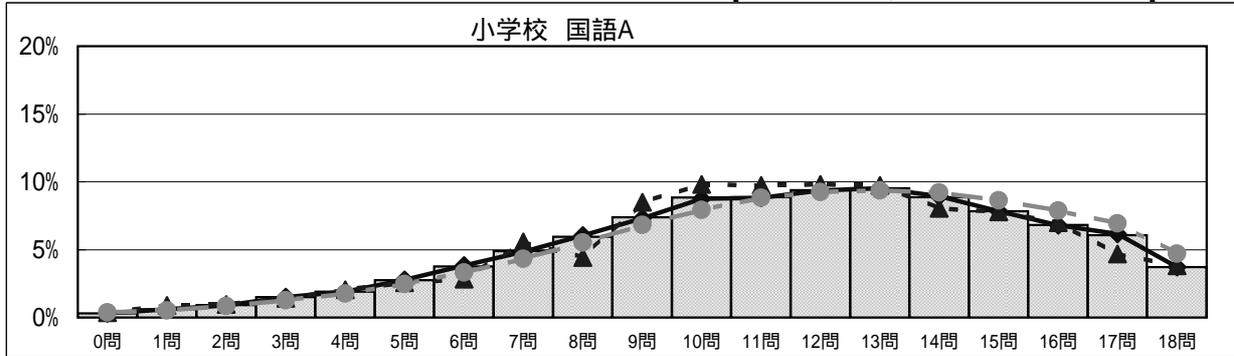
1 正答数の分布状況(正答設問数ごとの児童生徒の割合)

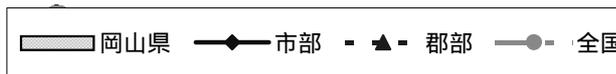
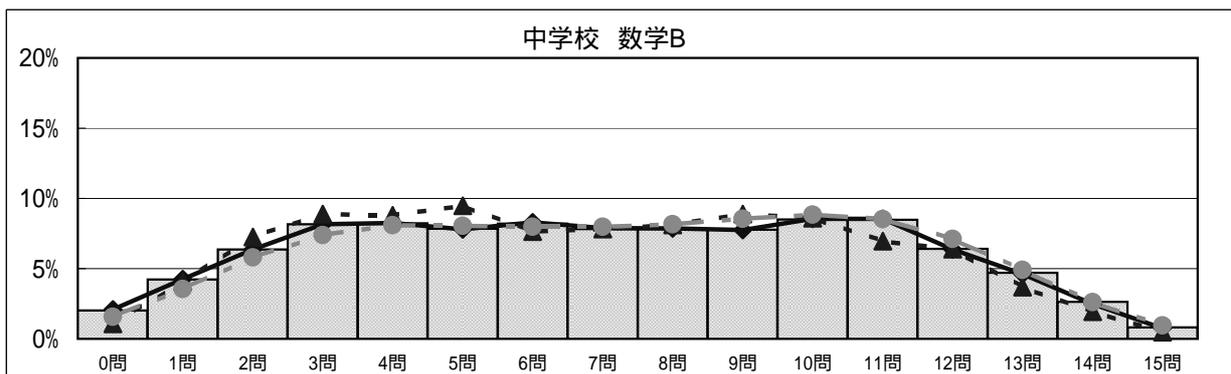
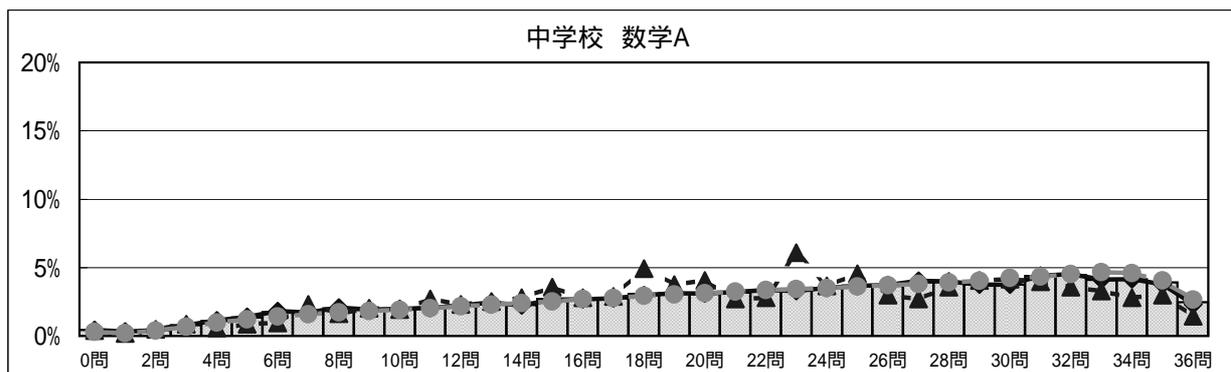
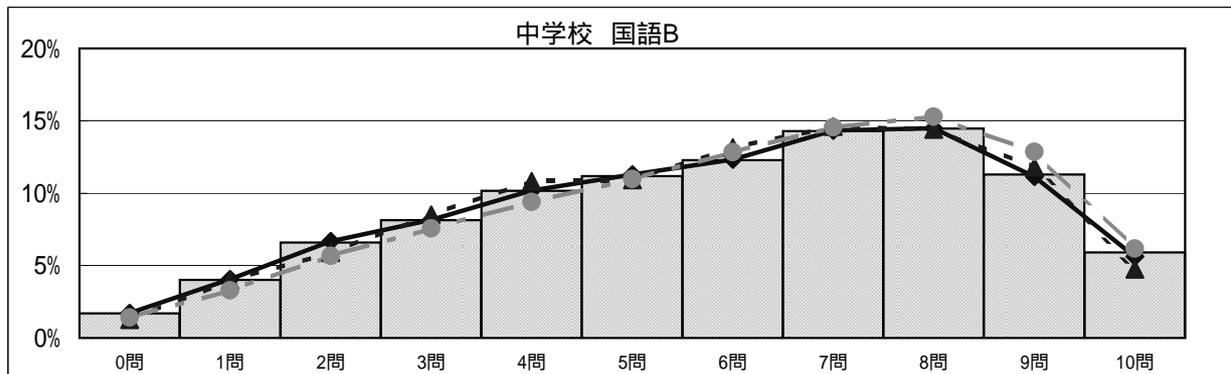
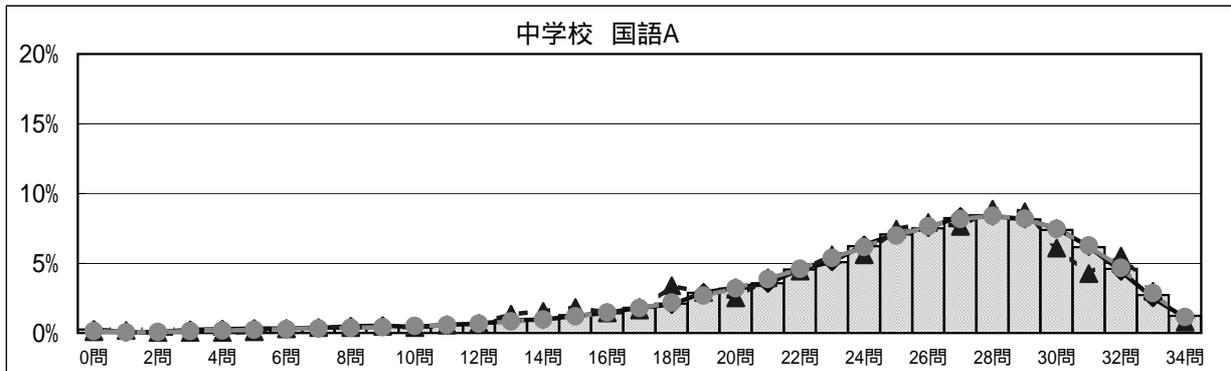
(1) 市部と郡部の状況(市部・郡部に県立学校の数値は含まれない。)

平均正答率	小学校 国語A	国語B	算数A	算数B	中学校 国語A	国語B	数学A	数学B
全国	65.4(81.7)	50.5(62.0)	72.2(82.1)	51.6(63.6)	73.6(81.6)	60.8(72.0)	63.1(71.9)	49.2(60.6)
岡山県	63.5(80.6)	48.9(60.0)	69.5(80.5)	49.3(62.1)	73.2(81.9)	58.8(70.0)	61.7(71.9)	47.7(58.8)
市部	63.6(80.6)	49.1(61.0)	69.4(80.5)	49.3(62.1)	73.1(81.9)	58.6(70.0)	61.6(71.9)	47.5(58.8)
郡部	63.1(80.0)	46.8(57.0)	69.7(78.9)	48.8(58.6)	72.8(81.1)	58.9(70.0)	59.8(70.6)	46.3(58.2)

()内はH19の結果

[横軸:正答数,縦軸:児童生徒の割合]





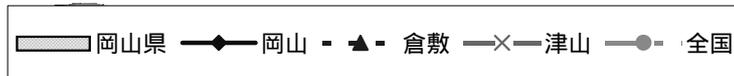
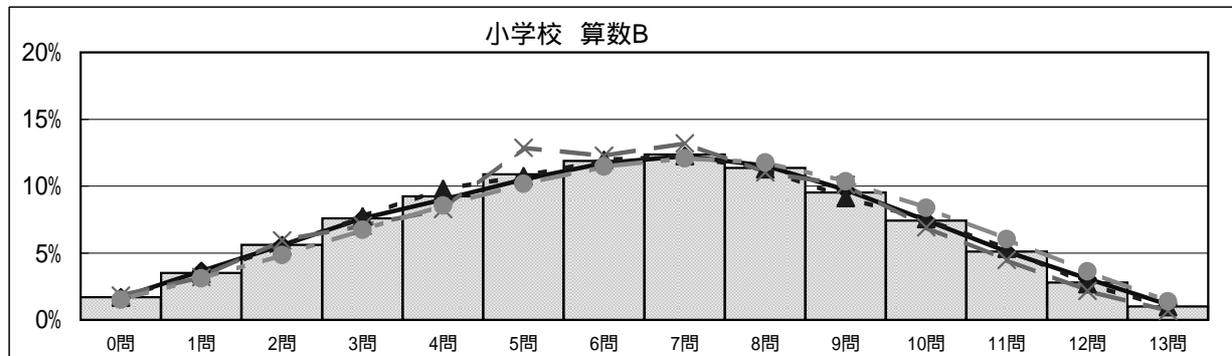
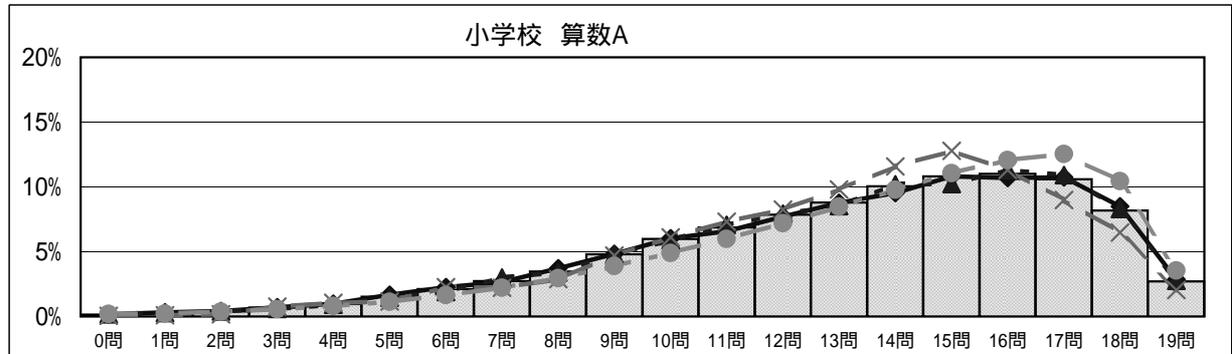
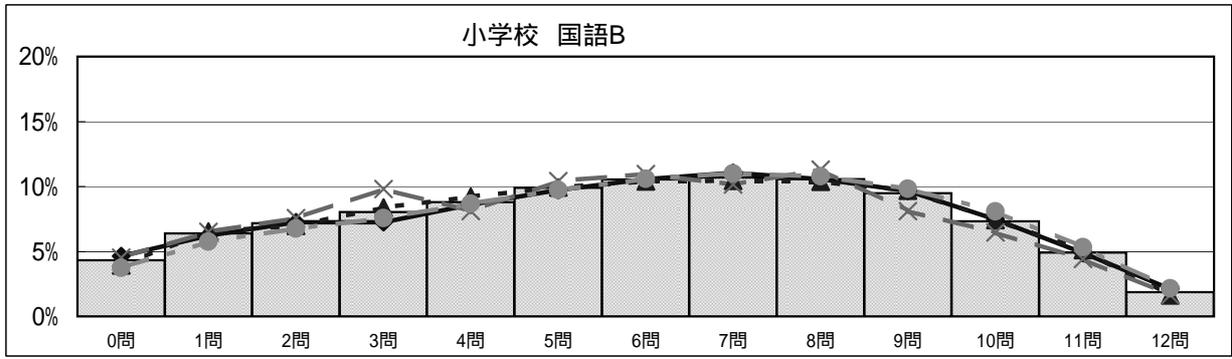
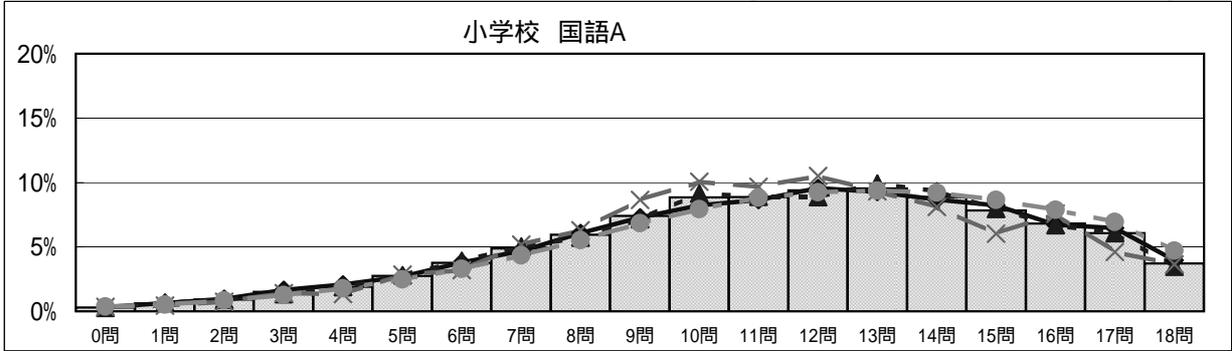
平均正答率を見ると、すべての問題において、市部、郡部ともに全国を下回っている。
 市部と郡部の平均正答率を比べると、H19ではすべての問題で市部が郡部より高い傾向が見られたが、H20では差があまり見られず、小学校の算数Aと中学校の国語Bにおいて、郡部が市部より高くなっている。
 正答数の分布を見ると、市部は、小・中学校とも全国の状況とよく似ているが、郡部の小学校では、国語Aを除いて上位層がやや少なく、中位から下位層がやや多くなっており、中学校では、国語と数学Aで上位層がやや少なく、数学Bで中位から下位層がやや多くなっている。

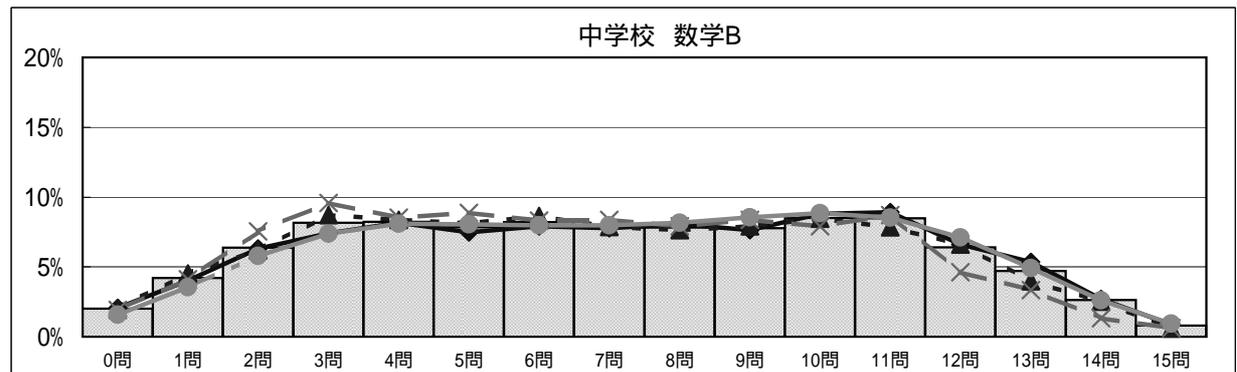
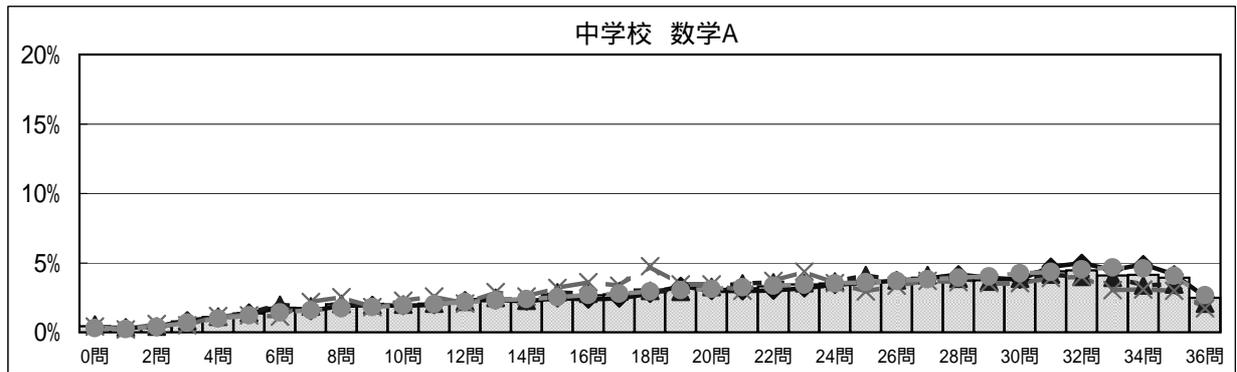
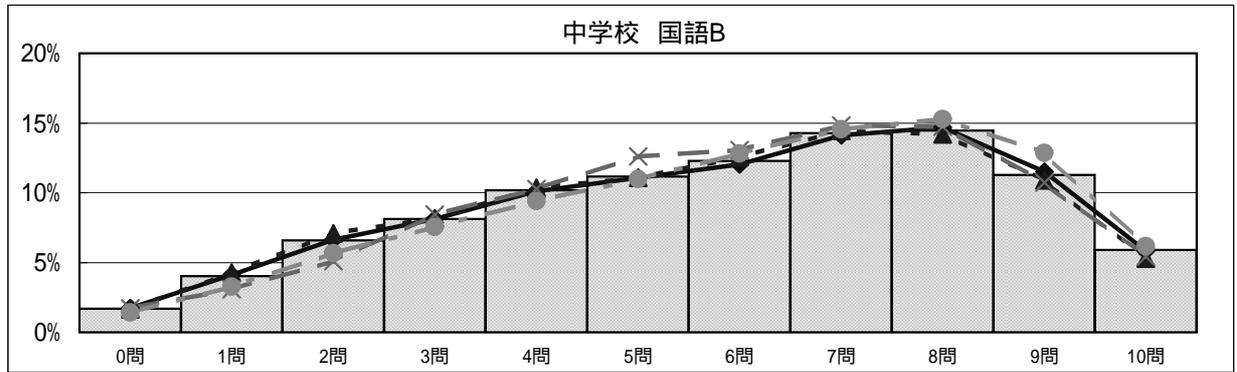
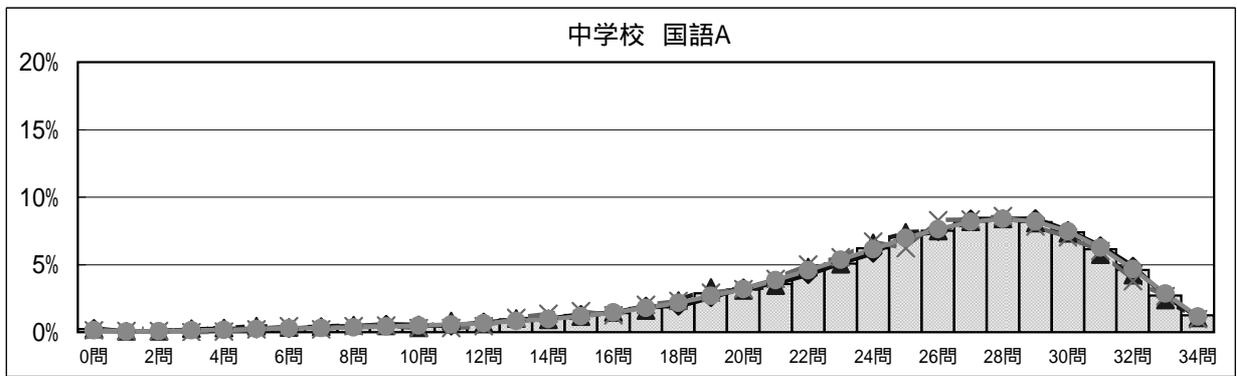
(2) 教育事務所ごとの状況(各教育事務所に県立学校の数値は含まれない。)

平均正答率	小学校 国語A	国語B	算数A	算数B	中学校 国語A	国語B	数学A	数学B
全国	65.4(81.7)	50.5(62.0)	72.2(82.1)	51.6(63.6)	73.6(81.6)	60.8(72.0)	63.1(71.9)	49.2(60.6)
岡山県	63.5(80.6)	48.9(60.0)	69.5(80.5)	49.3(62.1)	73.2(81.9)	58.8(70.0)	61.7(71.9)	47.7(58.8)
岡山	63.6(81.1)	49.3(60.0)	69.3(81.1)	49.6(62.1)	73.4(82.9)	58.8(70.3)	62.9(72.8)	48.6(59.4)
倉敷	63.6(80.6)	49.0(62.0)	69.7(81.1)	49.1(62.9)	72.6(81.1)	58.1(69.7)	60.6(71.4)	46.8(58.2)
津山	62.9(78.3)	47.4(56.0)	69.4(77.9)	48.6(57.9)	73.1(81.9)	59.3(68.0)	59.1(68.6)	45.0(55.3)

()内はH19の結果

[横軸: 正答数, 縦軸: 児童生徒の割合]



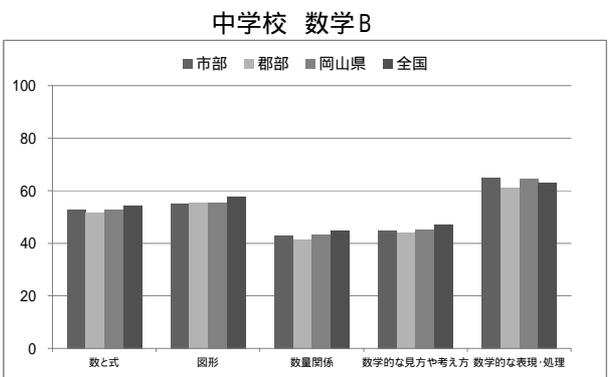
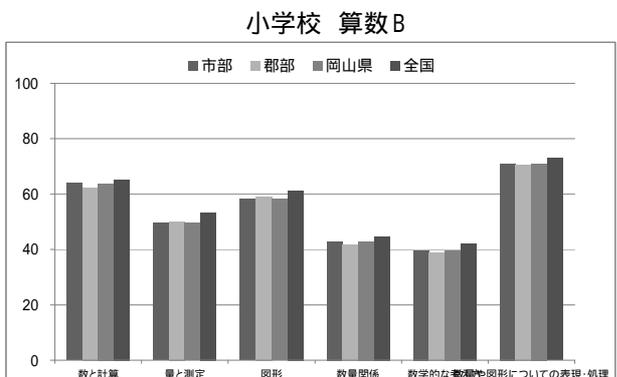
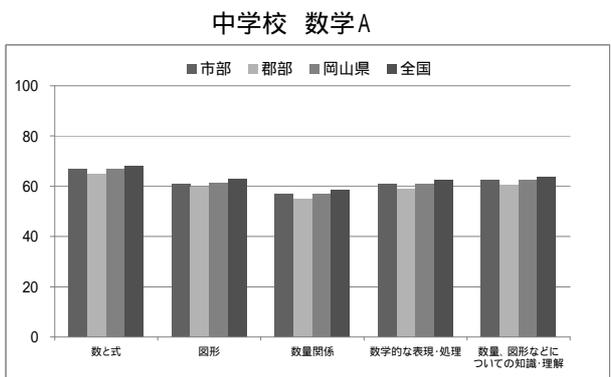
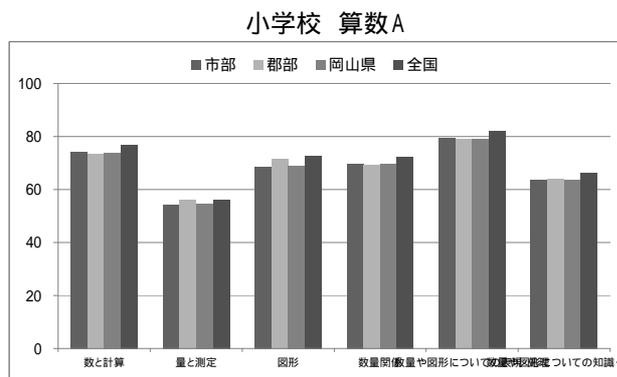
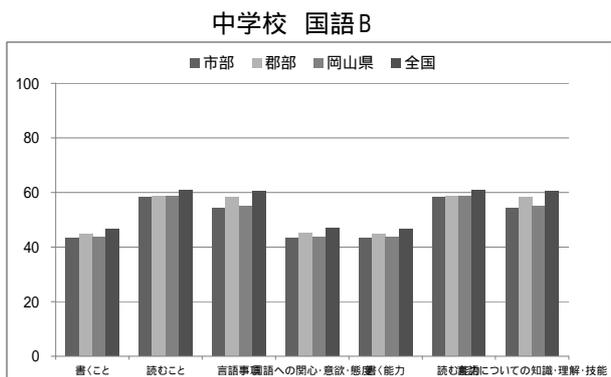
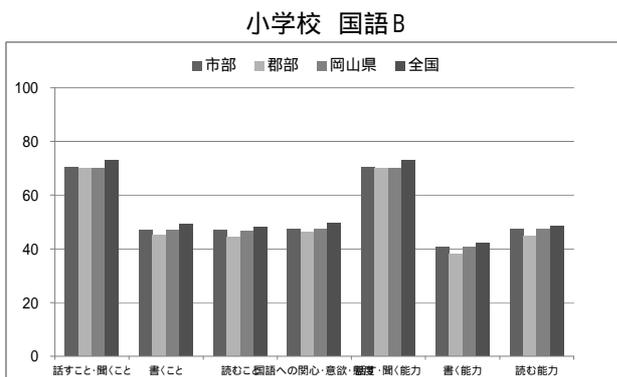
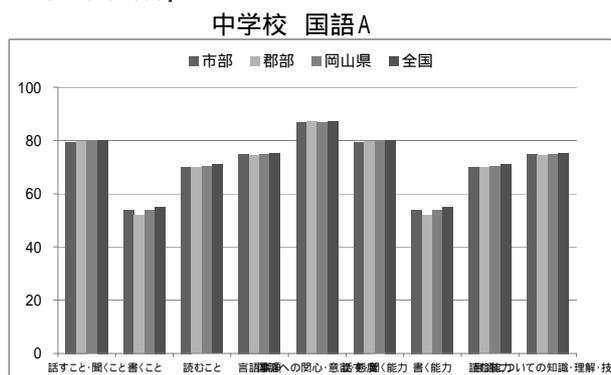
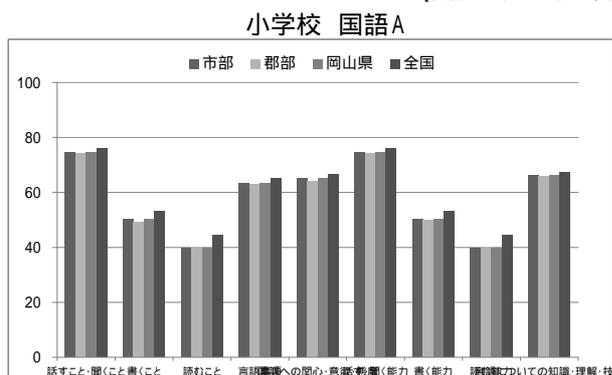


平均正答率を見ると、すべての問題において、どの教育事務所とも全国を下回っている。教育事務所間の平均正答率を比べると、H19より、どの教科も差が縮まっている。正答数の分布を見ると、津山教育事務所管内の小学校では、概ね上位層がやや少なく中位から下位層の数がやや多くなっているが、H19より差は小さくなっている。中学校では、H19とほぼ同様の傾向で、数学では、倉敷・津山教育事務所管内において、上位層がやや少なく中位から下位層の数がやや多くなっているが、昨年度よりも差は縮まっている。

2 各教科の領域・観点別の平均正答率の状況

(1) 市部と郡部の状況(市部・郡部に県立学校の数値は含まれない。)

[横軸: 領域および観点, 縦軸: 児童生徒の平均正答率]

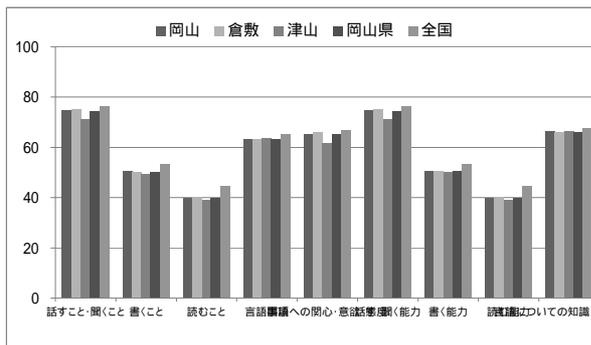


県, 市部, 郡部ともに, 全国の状況と似ている。
 どの領域・観点も, 市部, 郡部で大きな差は見られず, H19に比べて差が縮まっている。
 市部と郡部を比べると, 小学校算数A・Bの「量と測定」「図形」領域及び中学校国語Bにおいて, 郡部が市部・県よりも高い状況が見られる。その他の領域・観点については, 市部が郡部より高い状況である。市部の中学校数学Bは全国よりも高くなっている。
 (領域や観点ごとに設問を分けると, それぞれの問題数が少なくなるため, 領域・観点間の比較には留意が必要である。)

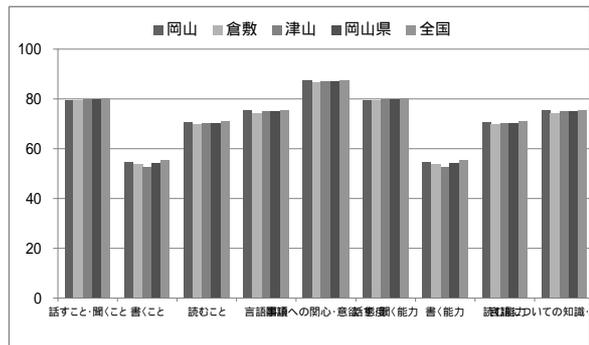
(2) 教育事務所ごとの状況(各教育事務所に県立学校の数値は含まれない。)

[横軸:領域および観点,縦軸:児童生徒の平均正答率]

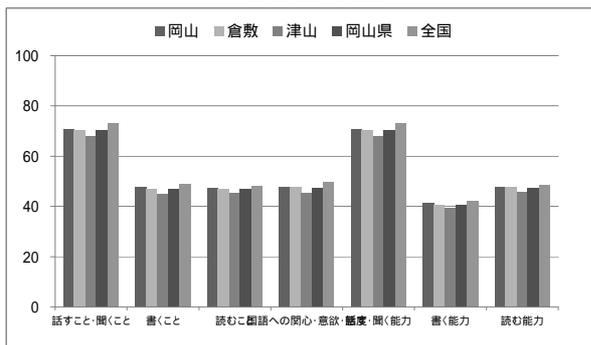
小学校 国語A



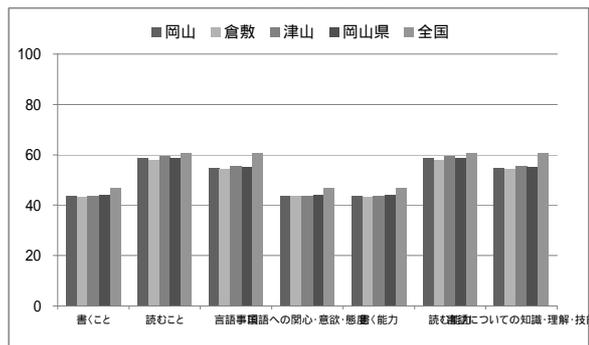
中学校 国語A



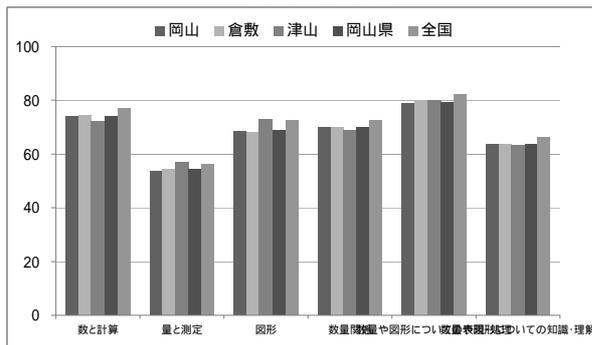
小学校 国語B



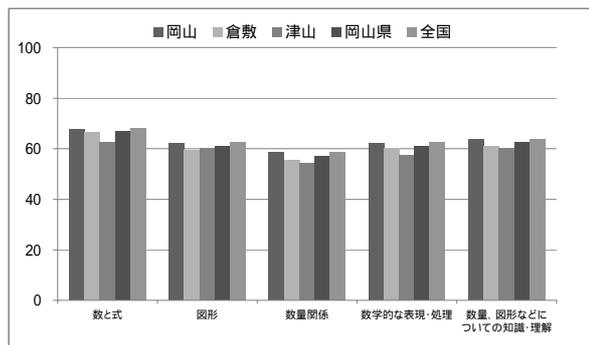
中学校 国語B



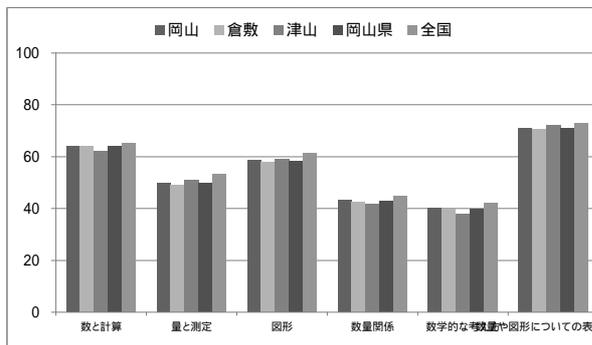
小学校 算数A



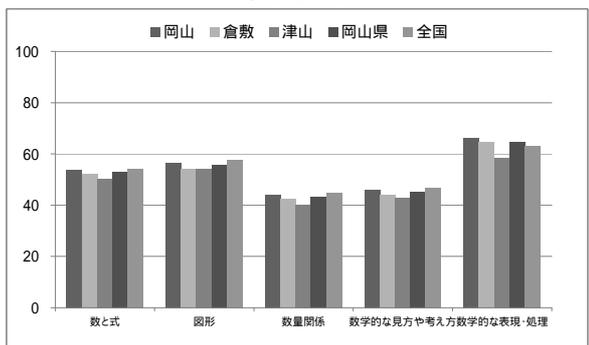
中学校 数学A



小学校 算数B



中学校 数学B



県,各教育事務所ともに,全国の状況と似ている。

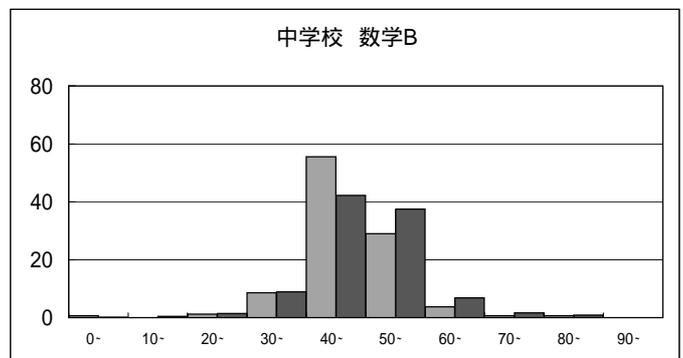
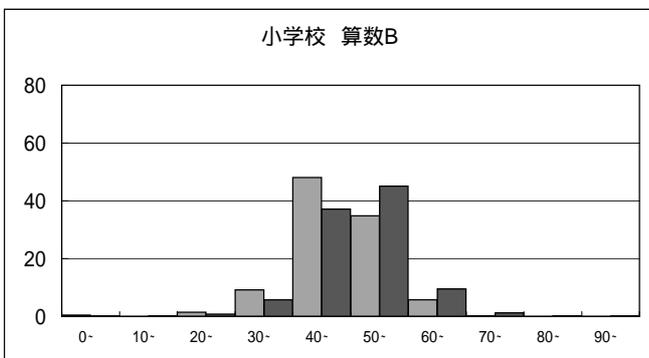
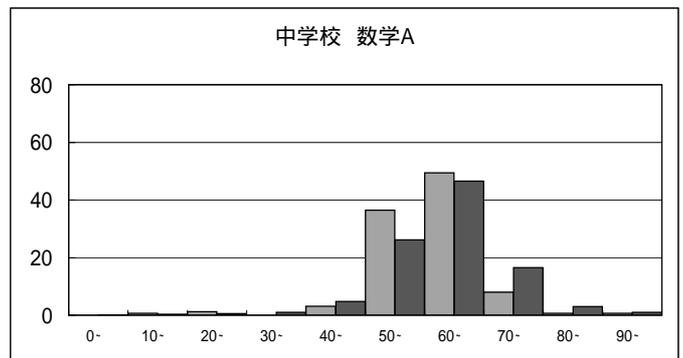
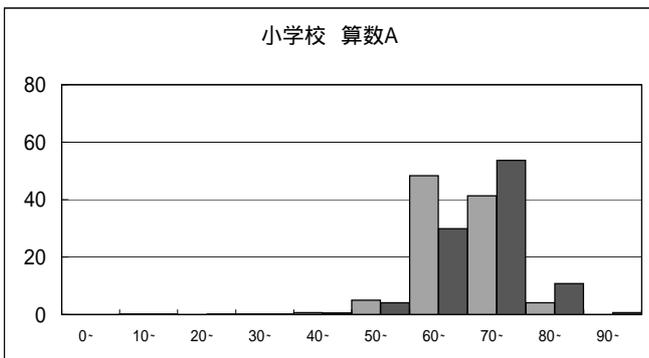
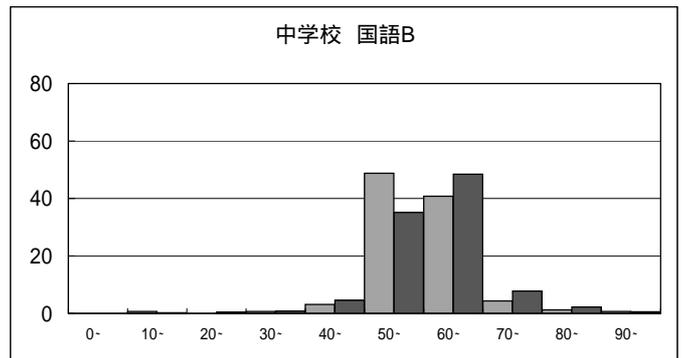
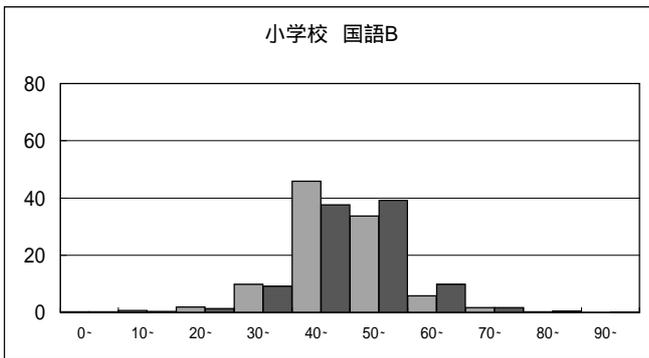
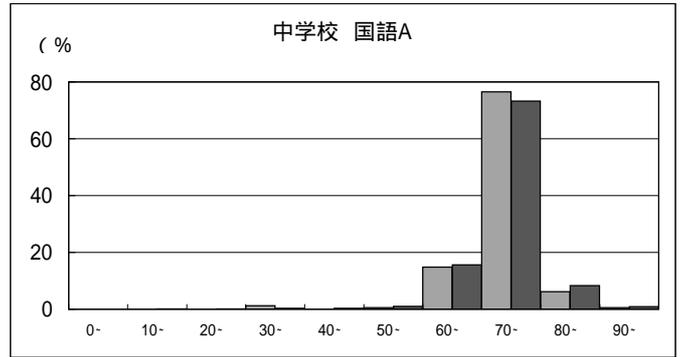
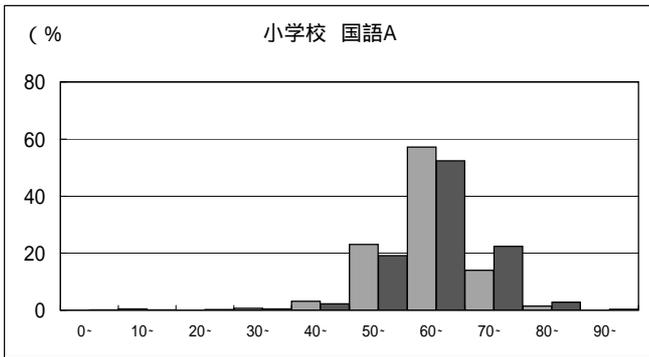
各教育事務所を比べると,小学校算数A・Bの「量と測定」「図形」領域及び中学校国語Bにおいて,津山教育事務所が岡山・倉敷教育事務所・県よりも高い傾向が見られる。中学校の国語では,3事務所とも状況は似ている。その他の領域・観点では,津山教育事務所が他と比べて若干低くなっている。

(領域や観点ごとに設問を分けると,それぞれの問題数が少なくなるため,領域・観点間の比較には留意が必要である。)

3 学校の分布状況(平均正答率別の学校の割合)

[横軸:学校の平均正答率,縦軸:学校の割合]

■岡山県(公立) ■全国(公立)



小学校・中学校ともに、平均正答率の高い学校が全国より少なく、平均正答率の低い学校が多い。

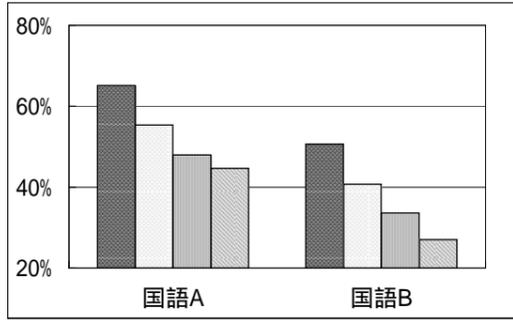
4 児童生徒質問紙と学力調査との相関

(1)「家庭生活」、(2)「自尊感情・規範意識」、(3)「学校生活」、(4)「学習習慣」、(5)「学習方法」(新設)の5観点について、学力調査結果との相関が見られた質問項目の中で主なものを列挙した。

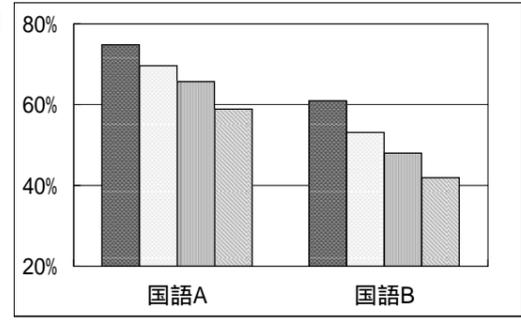
(1) 家庭生活

朝食を毎日食べていますか

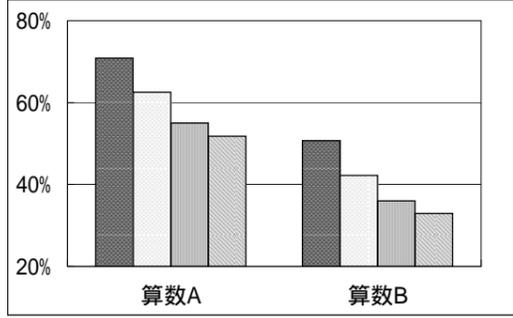
【小学校・国語】



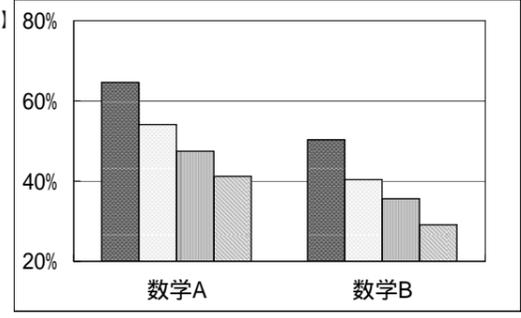
【中学校・国語】



【小学校・算数】



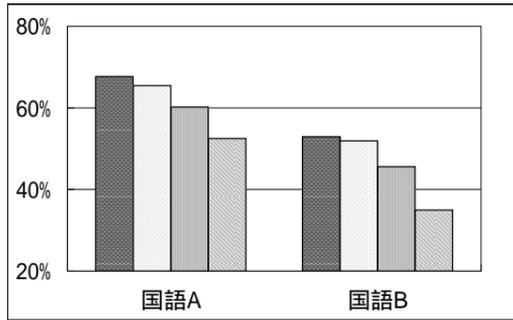
【中学校・数学】



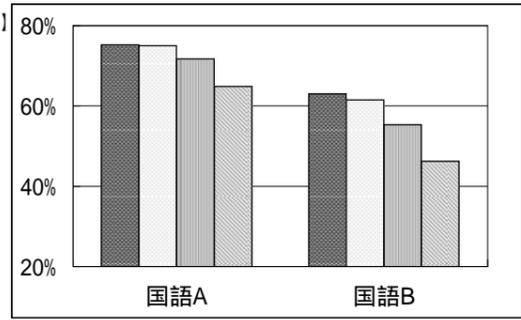
■ している □ どちらかといえば、している ■ あまりしていない □ 全くしていない

新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか

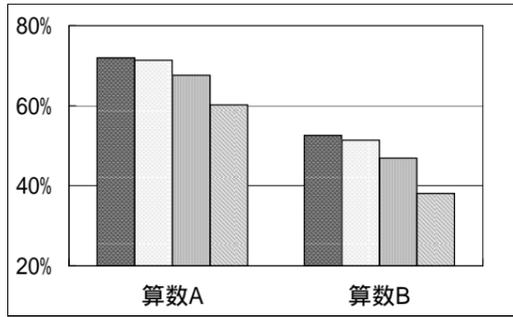
【小学校・国語】



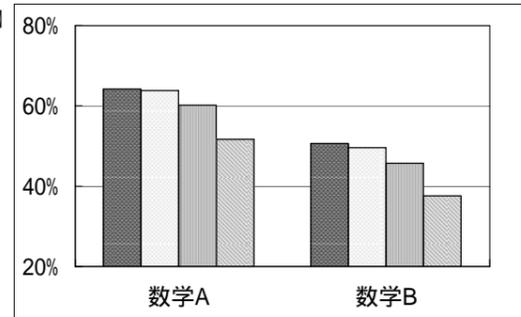
【中学校・国語】



【小学校・算数】



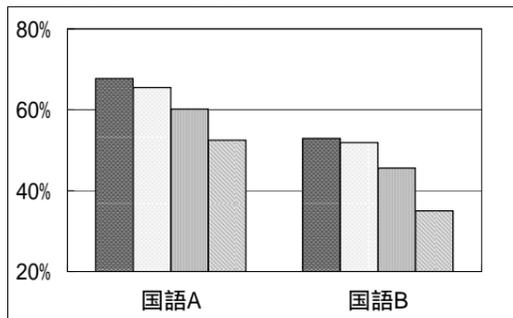
【中学校・数学】



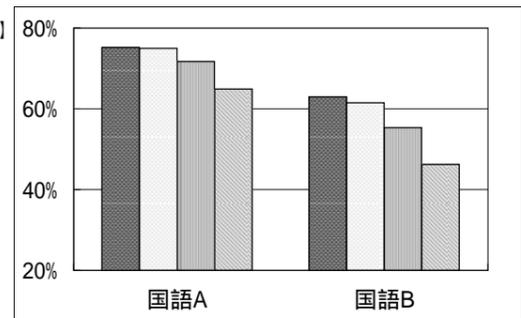
■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない □ 当てはまらない

今住んでいる地域の行事に参加していますか

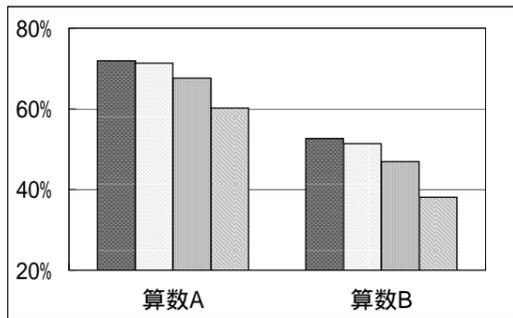
【小学校・国語】



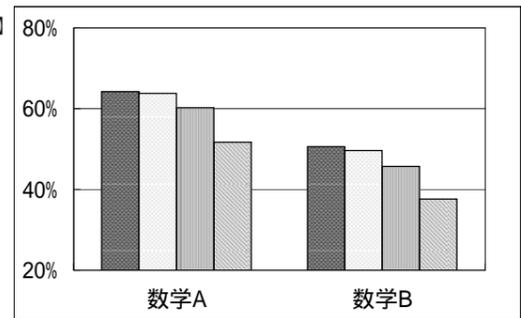
【中学校・国語】



【小学校・算数】



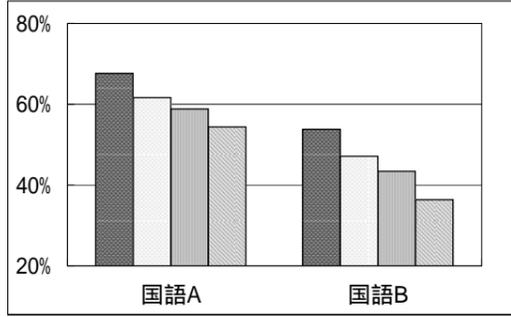
【中学校・数学】



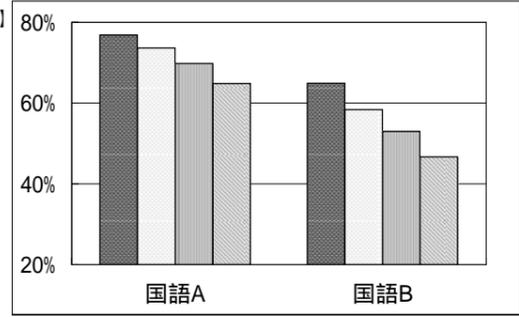
■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない □ 当てはまらない

読書は好きですか

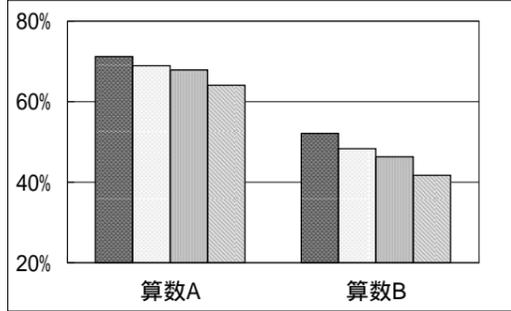
【小学校・国語】



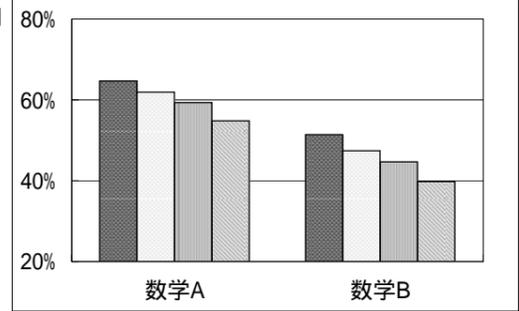
【中学校・国語】



【小学校・算数】



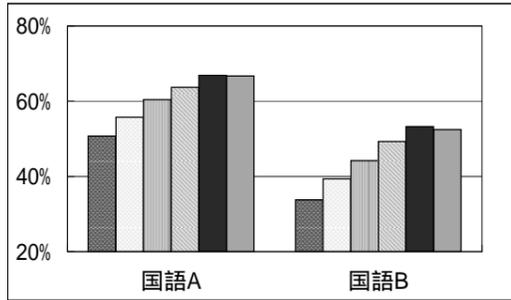
【中学校・数学】



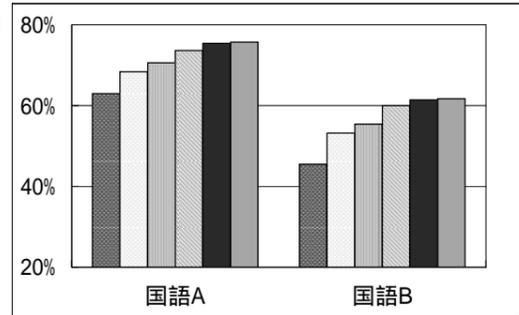
■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピューターゲーム、携帯式のゲームを含みます。)をしますか

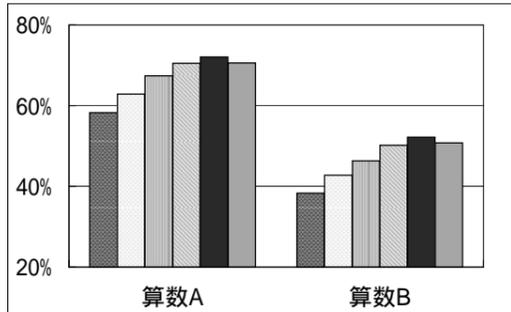
【小学校・国語】



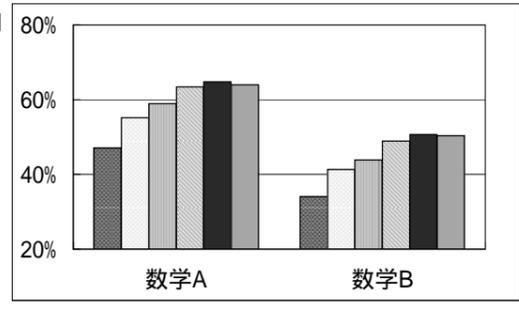
【中学校・国語】



【小学校・算数】



【中学校・数学】

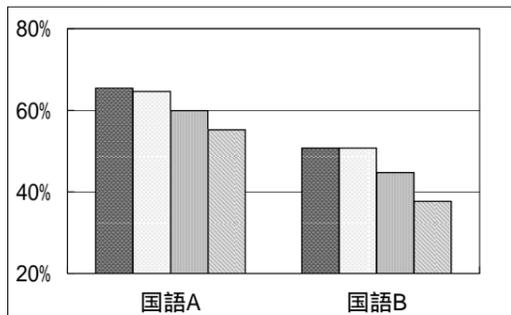


■4時間以上 □3時間～4時間 □2時間～3時間 □1時間～2時間 ■1時間より少ない □全くしない

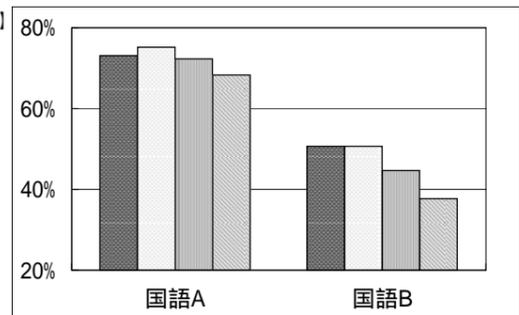
(2) 自尊感情・規範意識

自分には、よいところがあると思いますか

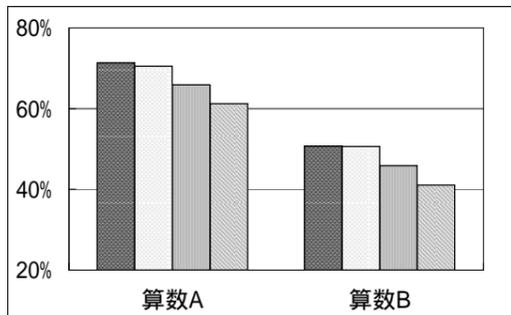
【小学校・国語】



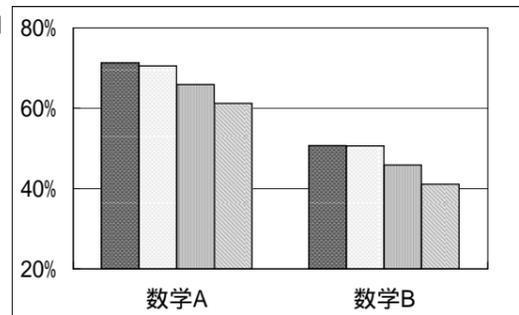
【中学校・国語】



【小学校・算数】



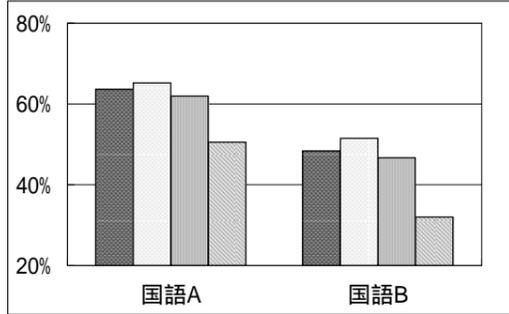
【中学校・数学】



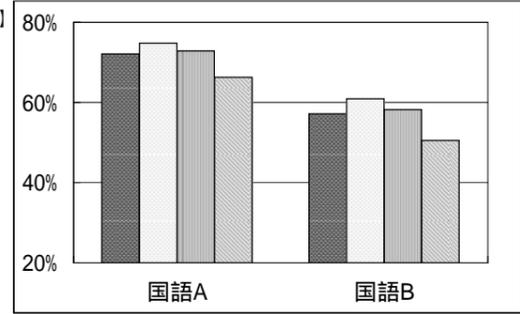
■そう思う □どちらかといえば、そう思う □どちらかといえば、そう思わない □そう思わない

難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか

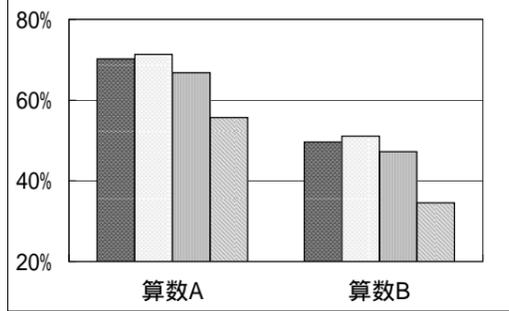
【小学校・国語】



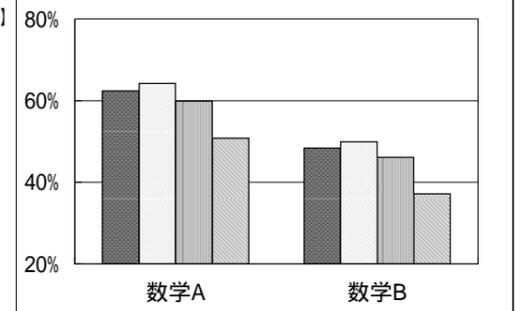
【中学校・国語】



【小学校・算数】



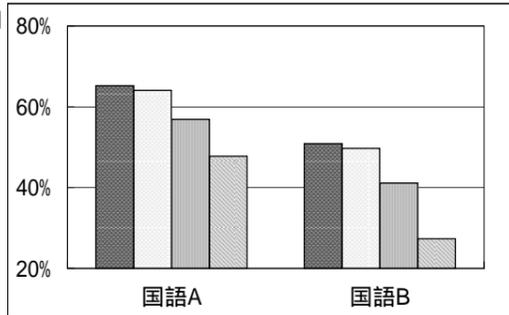
【中学校・数学】



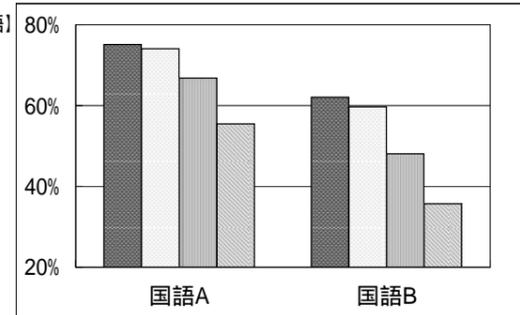
■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない

学校のきまり(規則)を守っていますか

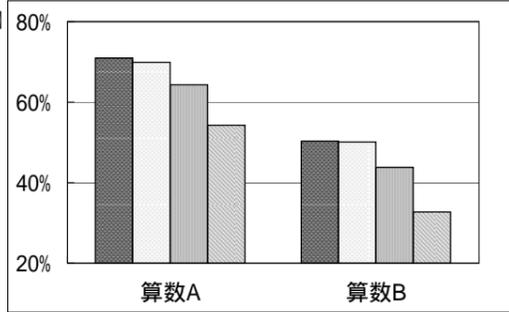
【小学校・国語】



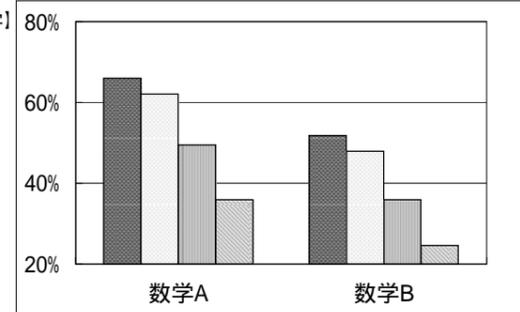
【中学校・国語】



【小学校・算数】



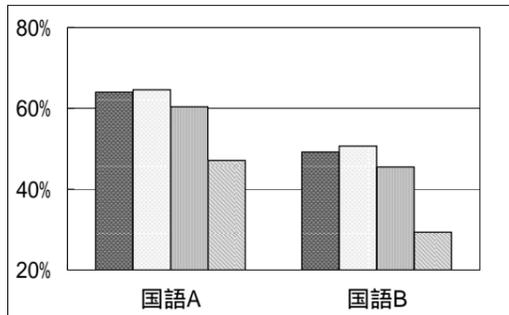
【中学校・数学】



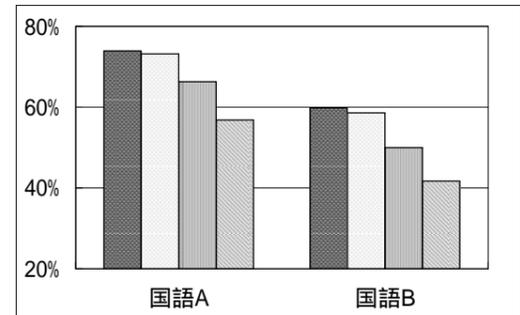
■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない

近所の人に出会ったときは、あいさつをしていますか

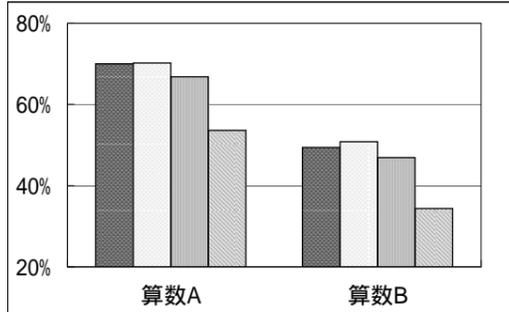
【小学校・国語】



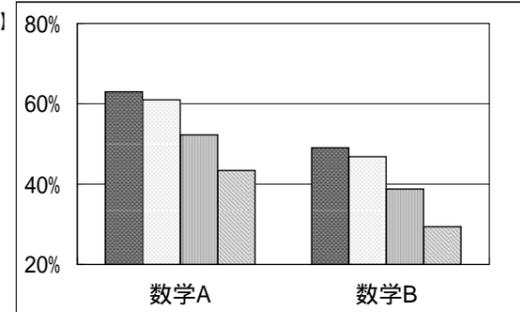
【中学校・国語】



【小学校・算数】



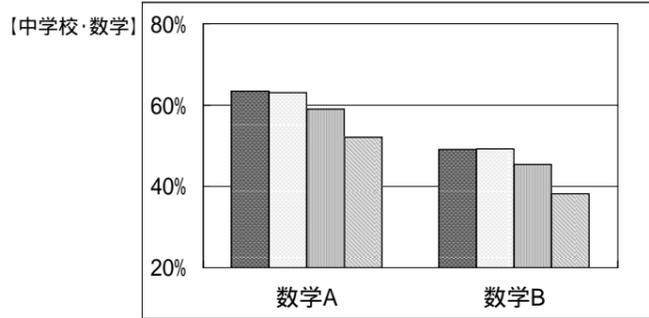
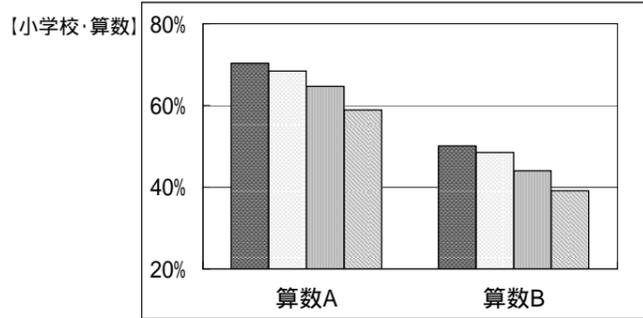
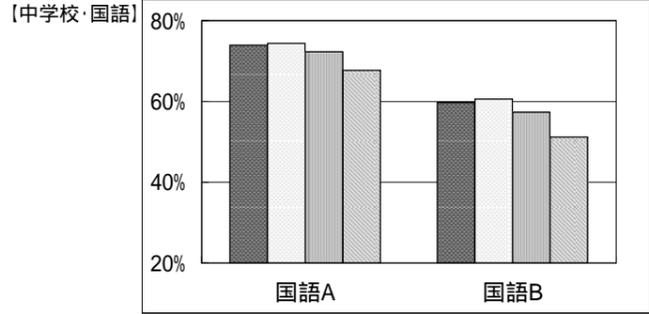
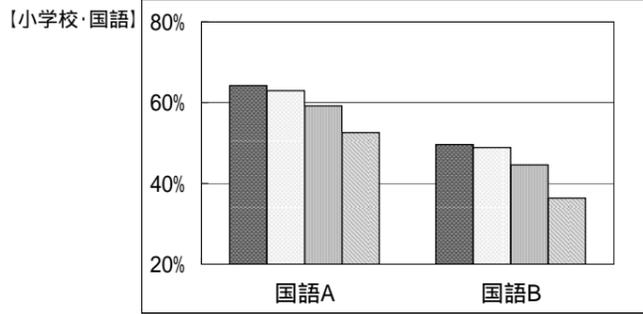
【中学校・数学】



■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない

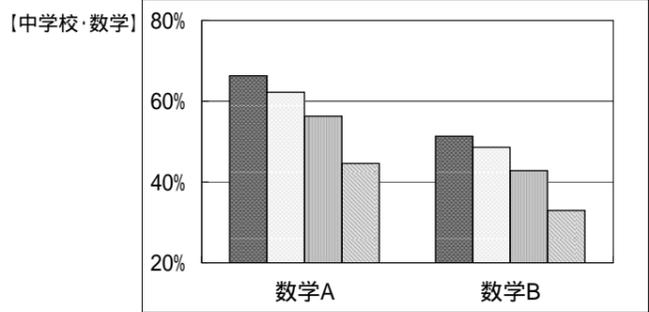
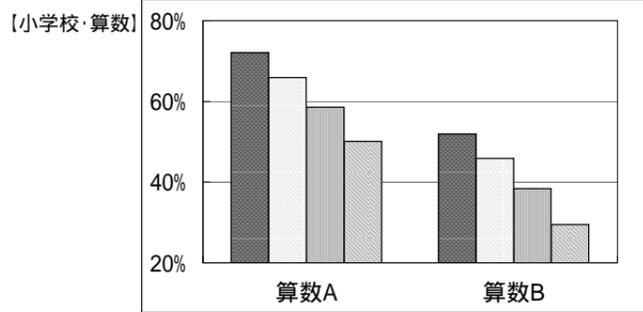
(3) 学校生活

学校で好きな授業がありますか



■ そう思う □ どちらかといえば、そう思う □ どちらかといえば、そう思わない □ そう思わない

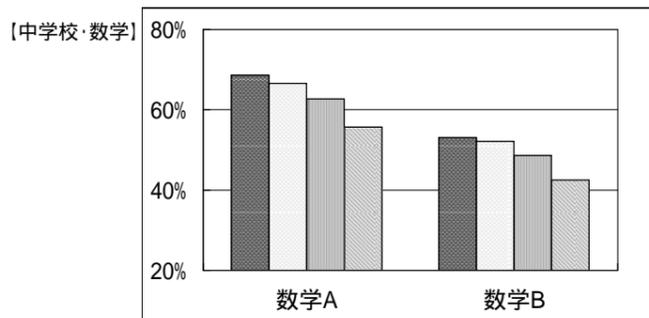
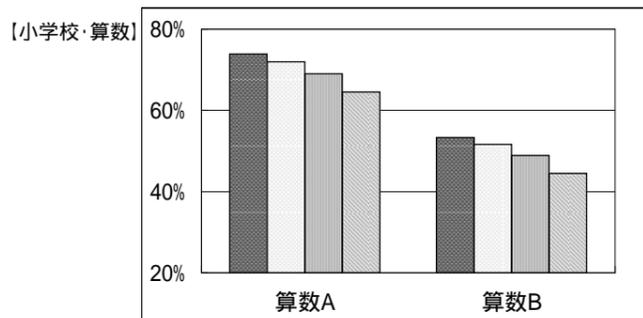
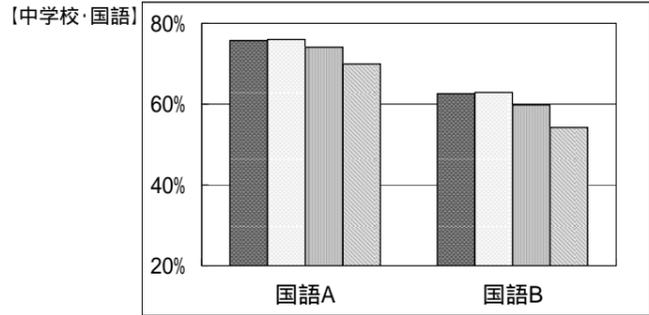
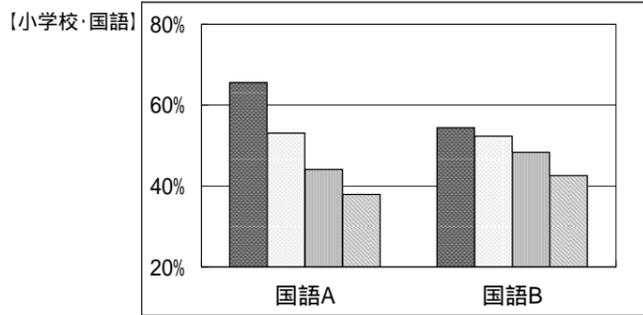
算数・数学の勉強は大切だと思いますか



■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる □ どちらかといえば、当てはまらない □ 当てはまらない

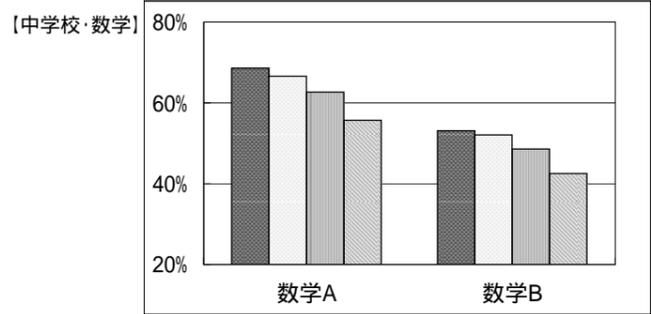
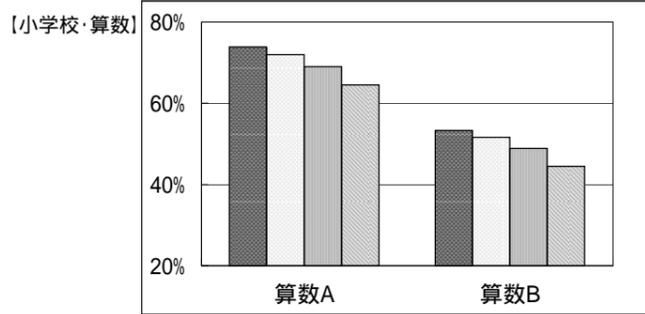
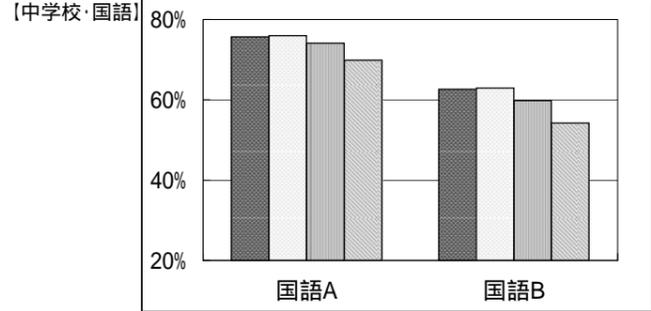
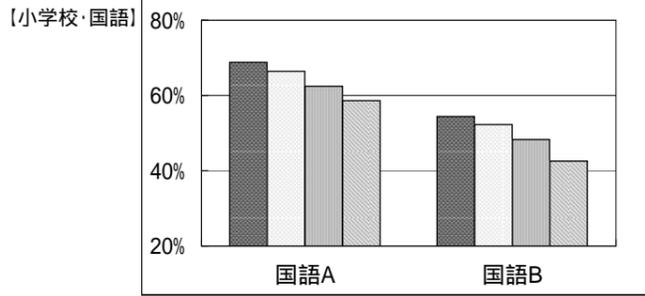
(4) 学習習慣

家で学校の宿題をしていますか



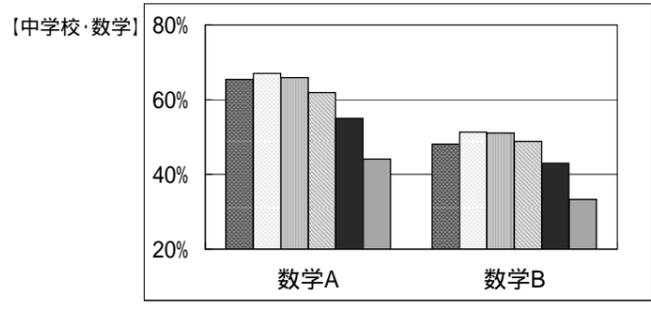
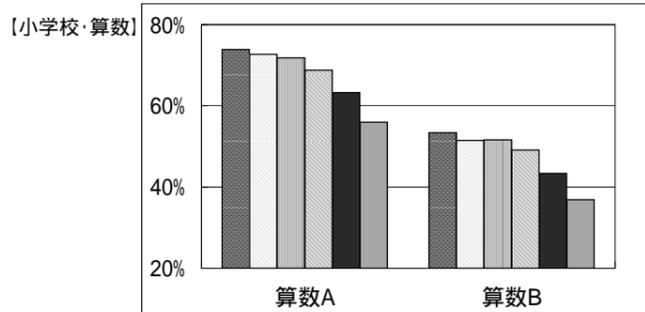
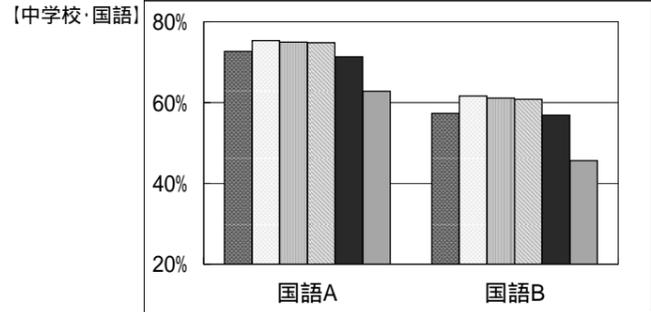
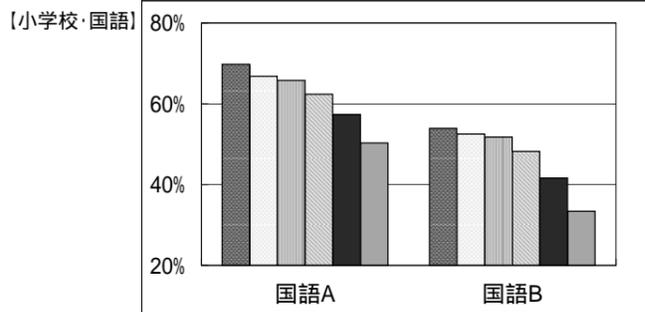
■ している □ どちらかといえば、している □ あまりしていない □ 全くしていない

家で学校の授業の復習をしていますか



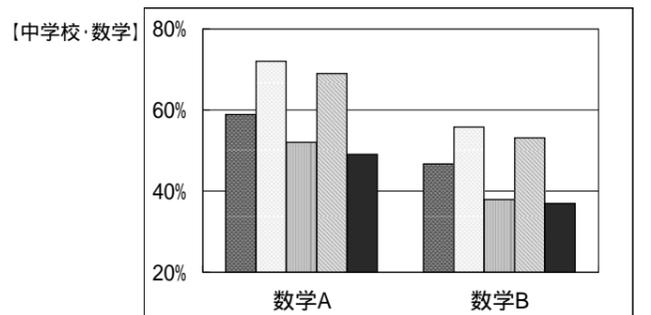
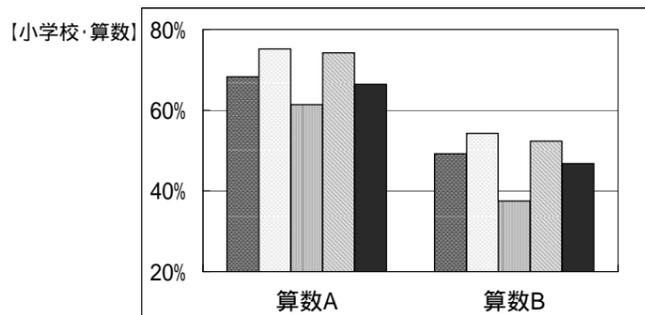
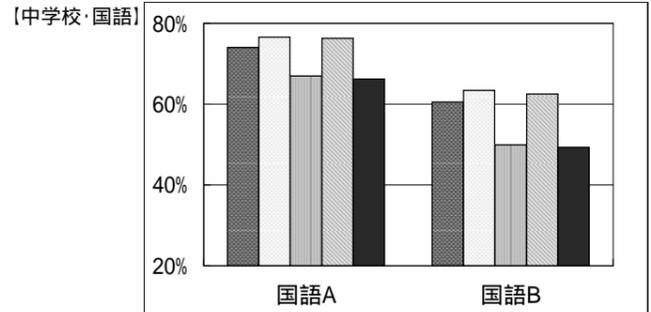
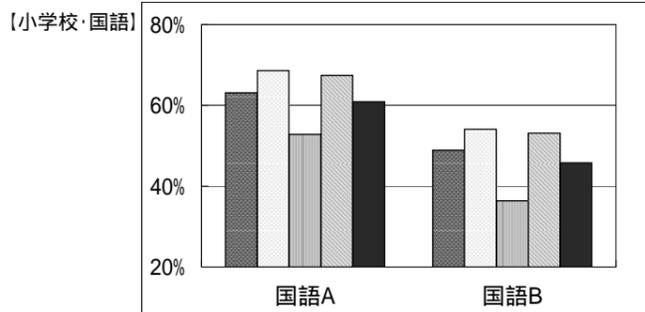
■ している □ どちらかといえば、している ■ あまりしていない □ 全くしていない

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



■ 3時間以上 □ 2時間-3時間 ■ 1時間-2時間 □ 30分-1時間 ■ 30分未満 □ 全くしない

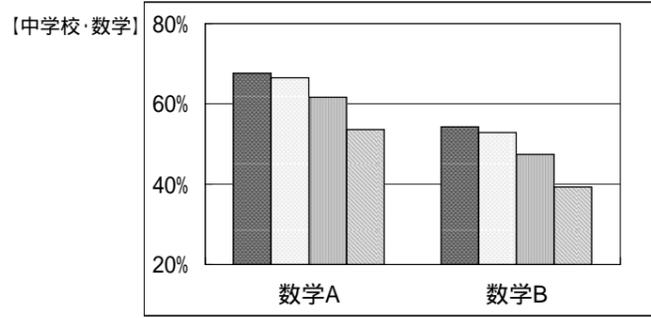
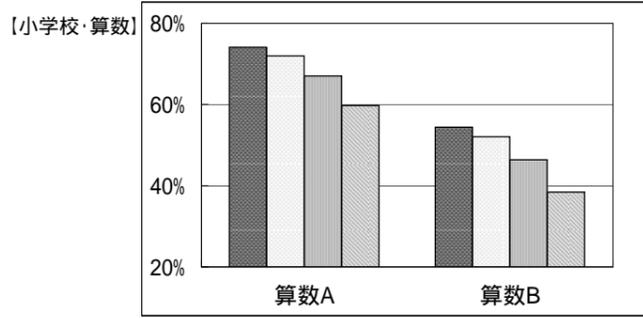
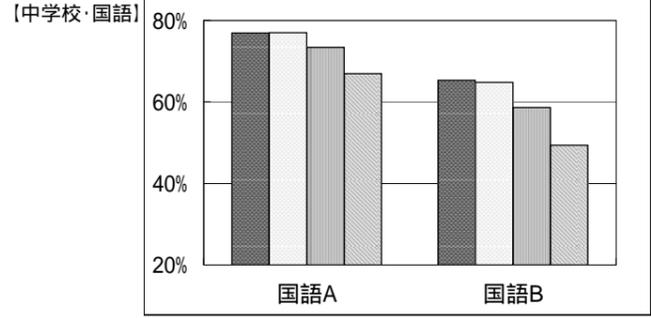
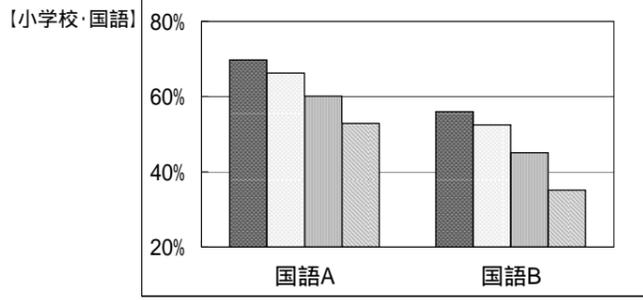
学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか



■ 学習塾に通っていない □ 学校より進んだ内容や難しい内容 ■ 学校でよく分からなかった内容
□ 2, 3の両方の内容を勉強している ■ 2, 3の内容どちらともいえない

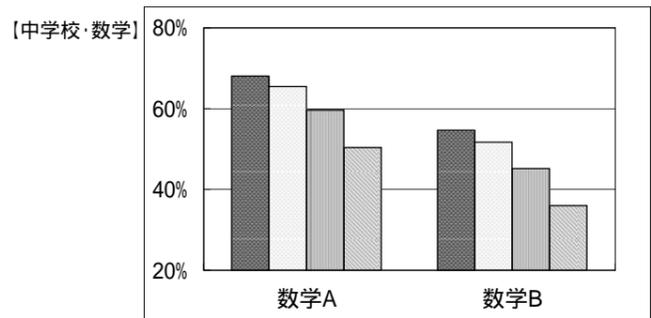
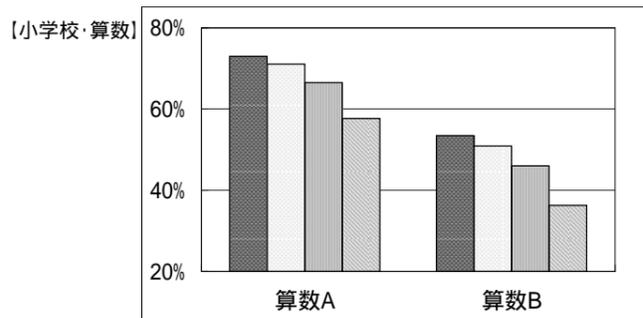
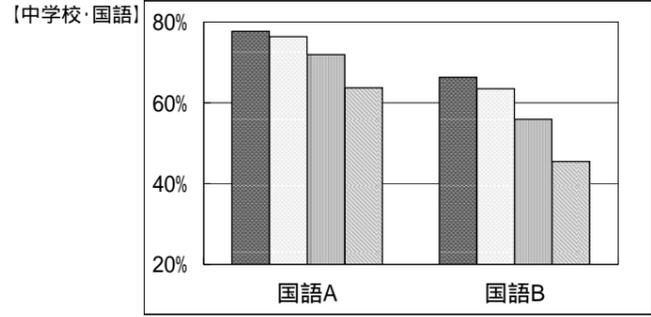
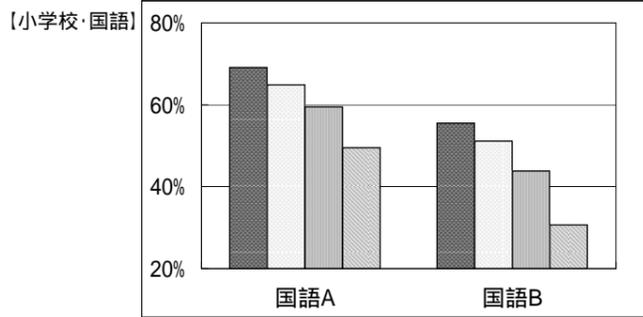
(5) 学習方法（今年度新たに追加された項目）

国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している



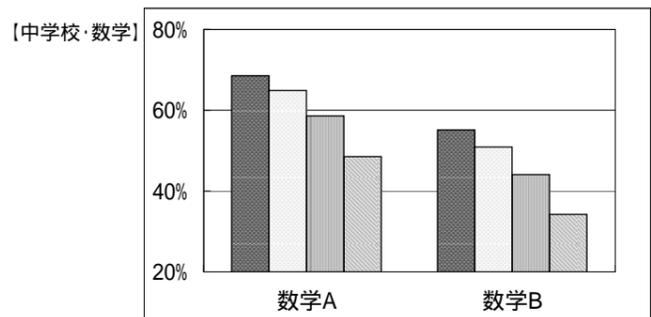
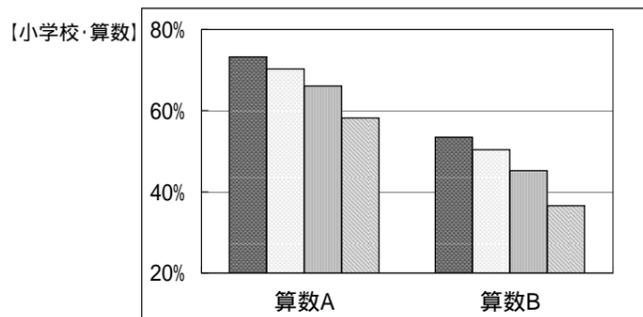
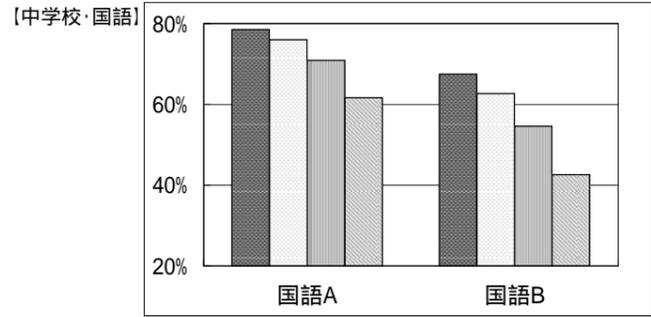
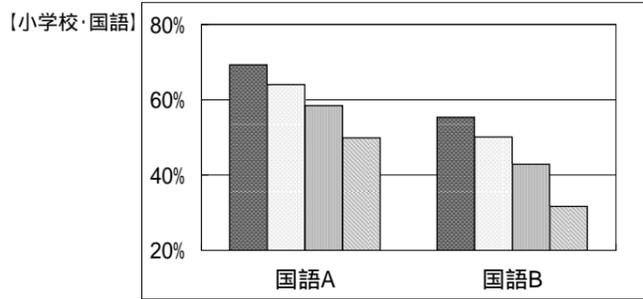
■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる ▨どちらかといえば、当てはまらない ▩当てはまらない

国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている



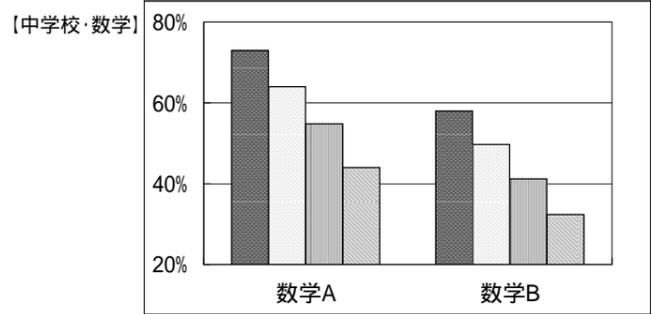
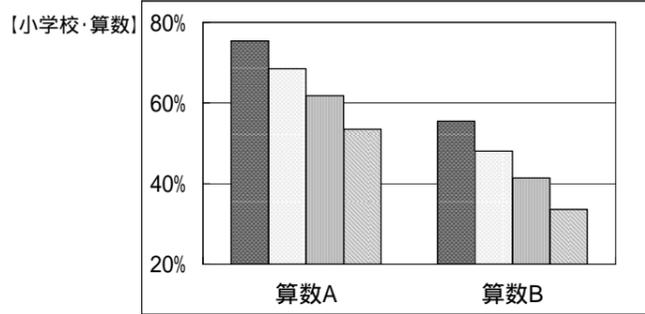
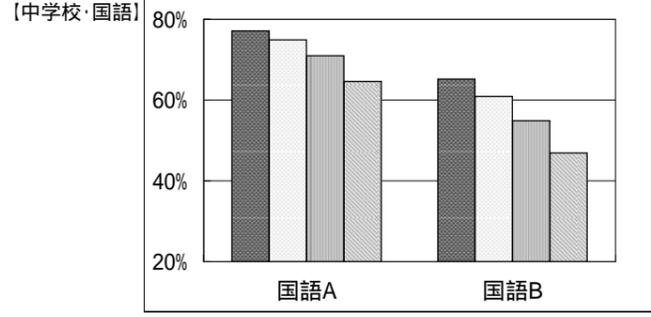
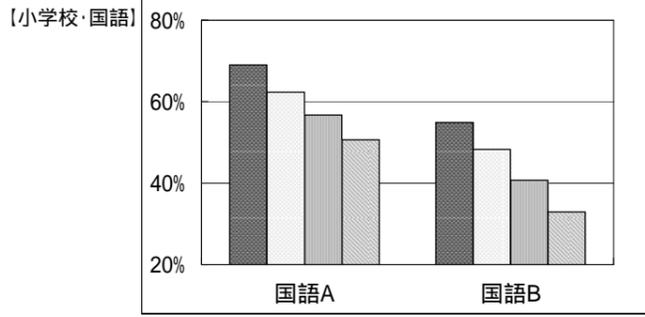
■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる ▨どちらかといえば、当てはまらない ▩当てはまらない

国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいる



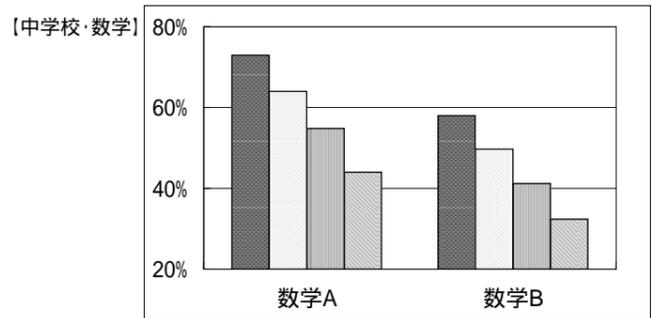
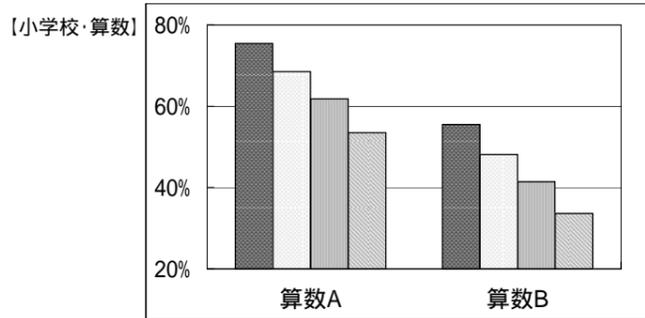
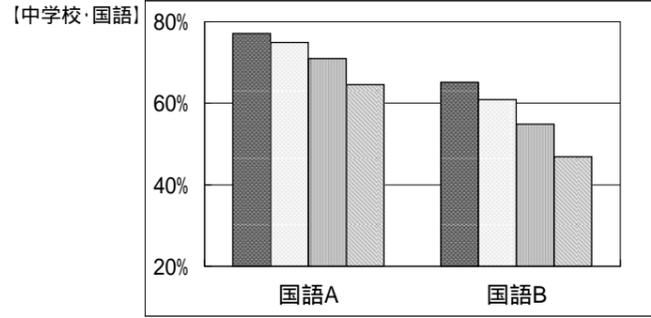
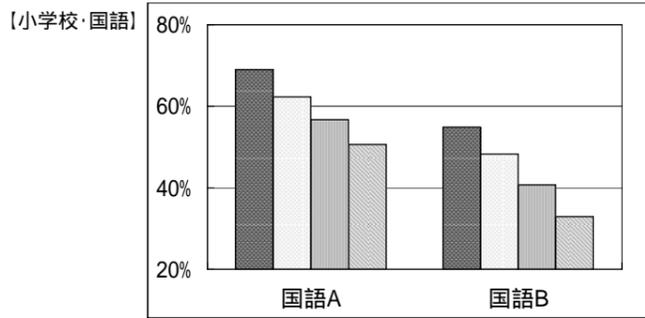
■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる ▨どちらかといえば、当てはまらない ▩当てはまらない

算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ(根拠)を理解するようにしている



当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

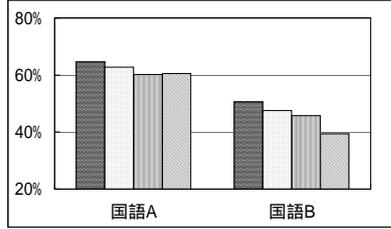
5 学校質問紙と学力調査との相関

学力調査結果との相関が見られた質問項目の中で主なものを列挙した。

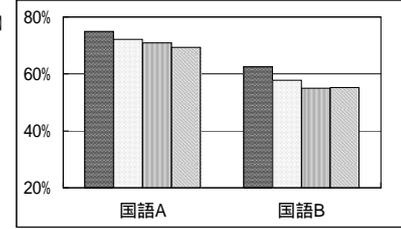
(1) 児童生徒の状況

児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いている

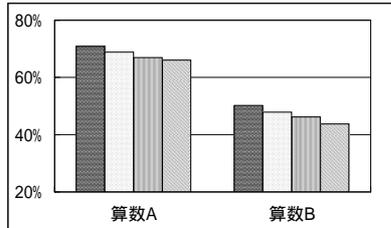
【小学校・国語】



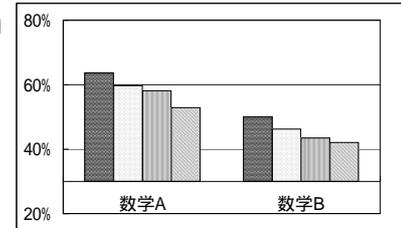
【中学校・国語】



【小学校・算数】



【中学校・数学】

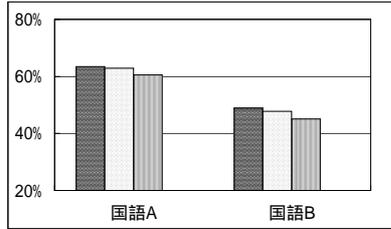


■ そう思う □ どちらかといえば、そう思う □ どちらかといえば、そう思わない □ そう思わない

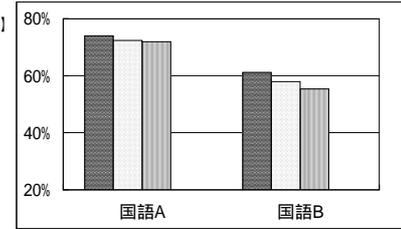
(2) 学習規律・指導方法

学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底している

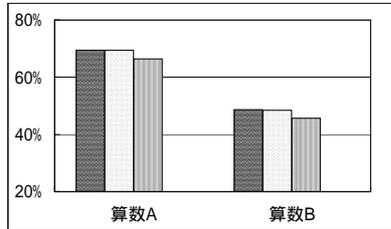
【小学校・国語】



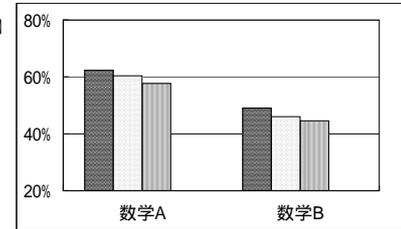
【中学校・国語】



【小学校・算数】



【中学校・数学】

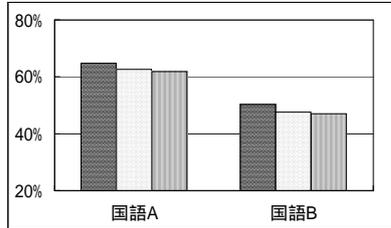


*小・中学校ともに「全く行っていない」と回答した学校はなかった

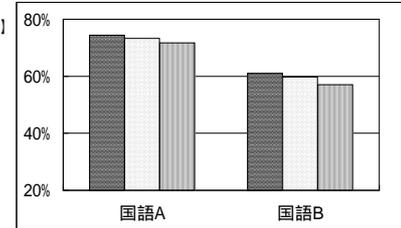
■ よく行った □ どちらかといえば、行った □ あまり行っていない □ 全く行っていない

児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問や指導をしている

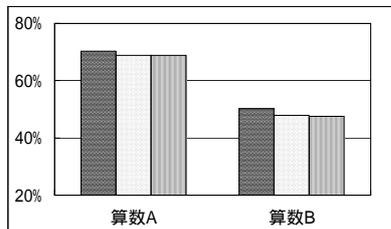
【小学校・国語】



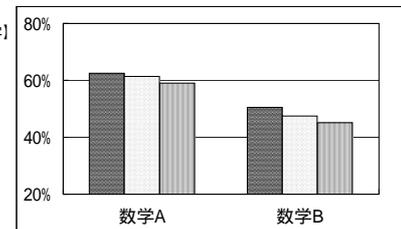
【中学校・国語】



【小学校・算数】



【中学校・数学】

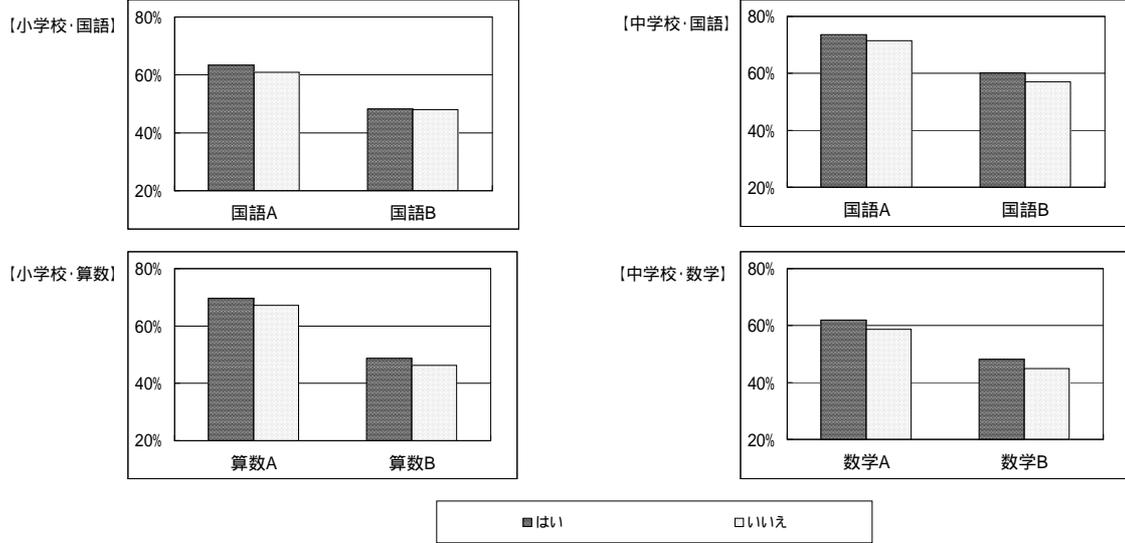


*小・中学校ともに「全く行っていない」と回答した学校はなかった

■ よく行った □ どちらかといえば、行った □ あまり行っていない □ 全く行っていない

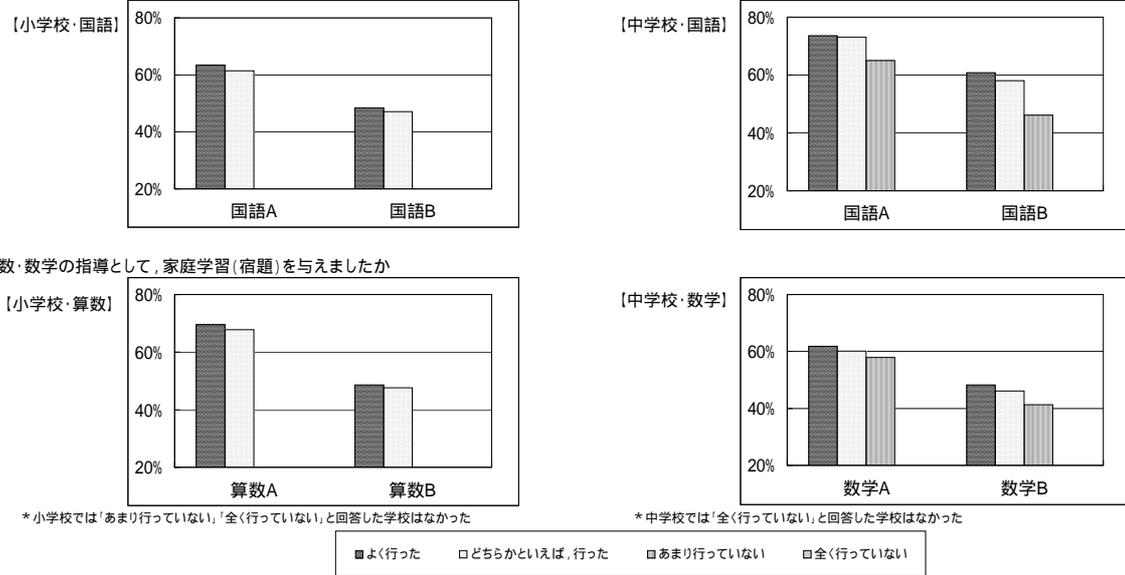
(3) 全国学力・学習状況調査の活用(今年度新たに追加された項目)

平成19年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用しましたか



(4) 家庭学習

国語の指導として、家庭学習(宿題)を与えましたか



6 解答率と質問紙との相関

(1) 児童生徒質問紙との相関

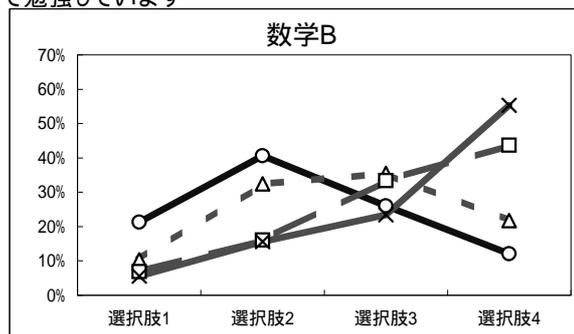
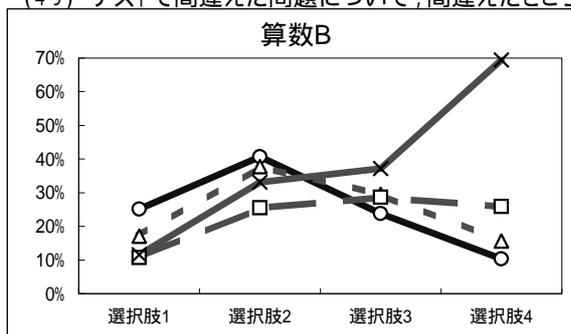
昨年度同様，すべての教科，問題のほとんどの設問で，全国に比べて無解答率が高い傾向が見られたことから，特にその傾向が著しかった小学校算数Bと中学校数学Bについて，解答率と児童生徒質問紙との関連を調べた。

	全問解答群	無解答少群	無解答中群	無解答多群
算数B	無解答0問(13問解答)	無解答1～4問	無解答5～8問	無解答9～13問
数学B	無解答0問(15問解答)	無解答1～5問	無解答6～10問	無解答11～15問

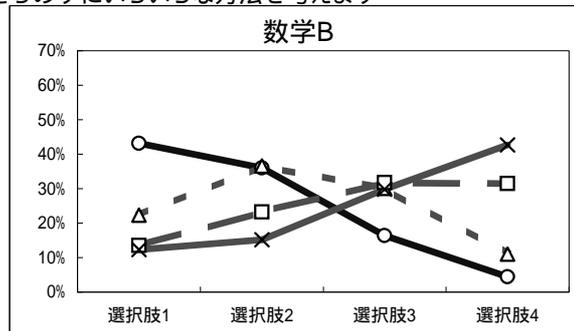
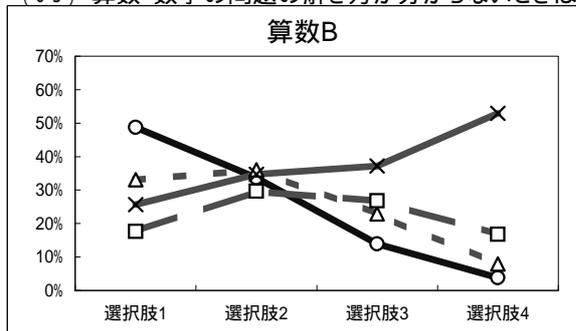


[横軸: 児童生徒質問紙の選択肢, 縦軸: 選択肢を回答した児童生徒の割合]

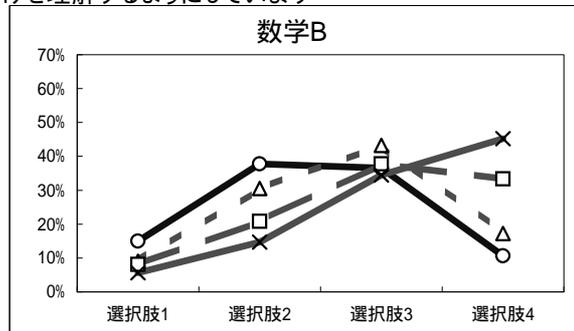
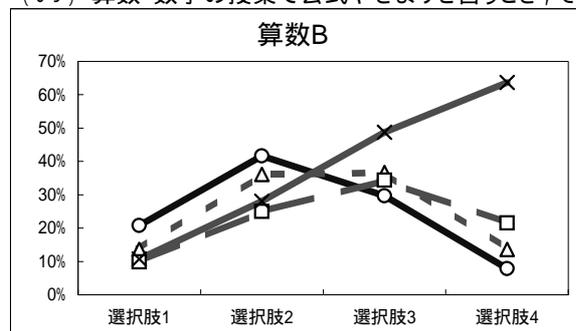
(49) テストで間違えた問題について，間違えたところを後で勉強しています



(65) 算数・数学の問題の解き方が分からないときは，あきらめずにいろいろな方法を考えます



(69) 算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき，そのわけを理解するようにしています



選択肢1	している	選択肢2	どちらかといえばしている	選択肢3	あまりしていない	選択肢4	全くしていない
------	------	------	--------------	------	----------	------	---------

無解答率が高い児童生徒ほど，テストで間違えた問題を後で勉強するなどの自主的な学習の意欲が乏しく，問題の解き方が分からなくなると他の方法を考える前にあきらめる傾向が見られる。また，無解答率が高い児童生徒ほど，算数・数学で公式を習う際，そのわけを理解するようにしていない傾向が見られた。

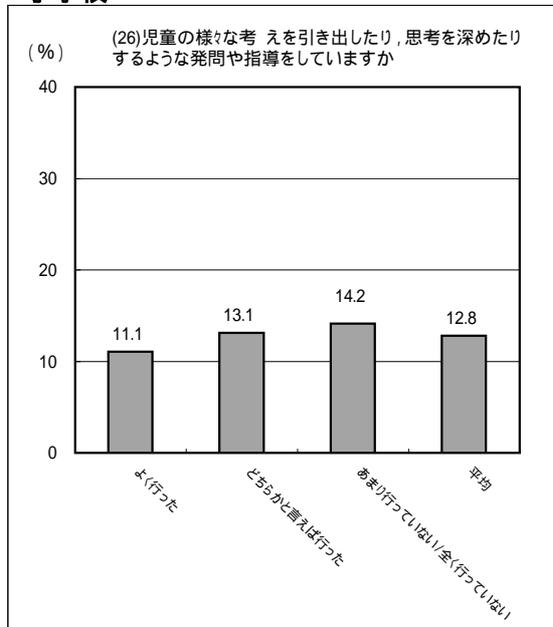
(2) 学校質問紙との相関

特に無解答率の高い傾向が見られた記述式の設問（小学校の国語Bの5問・算数Bの4問，中学校の国語Bの4問・数学Bの6問）について，無解答率と学校質問紙との関連を調べた。

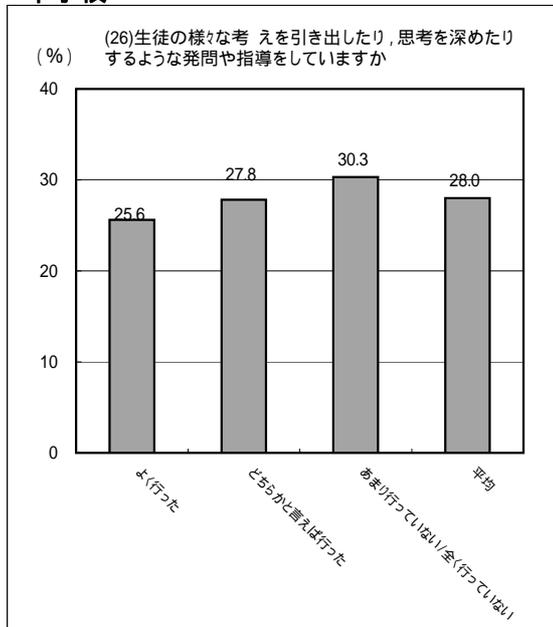
縦軸は，例えば，「よく行った」と回答した学校の無解答率を合計し，それを学校数で割ったもの（無解答率の平均値）を示す。また，横軸の「平均」は県全体の無解答率の平均を指す。

[横軸：学校質問紙の選択肢及び県平均，縦軸：無解答率]

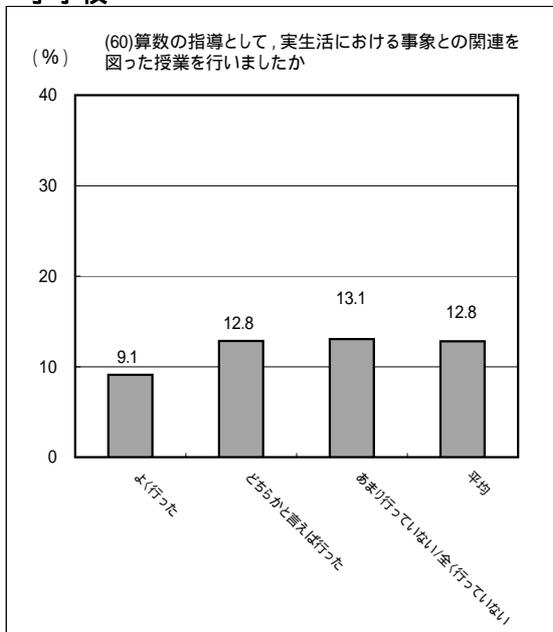
小学校



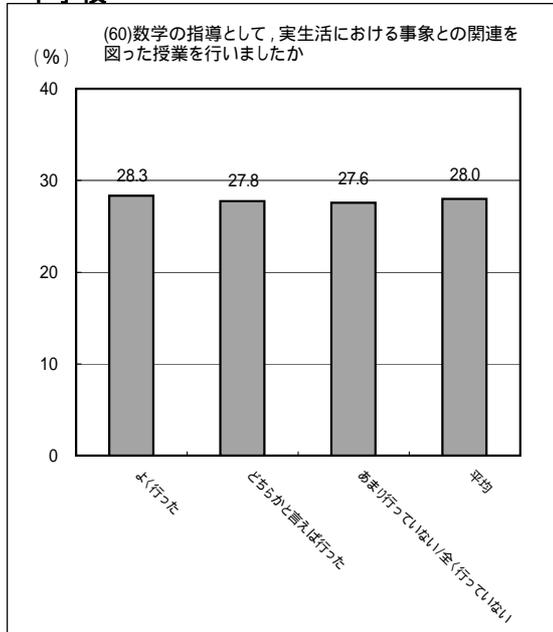
中学校



小学校



中学校



児童生徒の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしている学校では，していない学校よりも，無解答率が低くなっている。

小学校の算数において実生活における事象との関連を図った授業をよく行っている学校では，無解答率が低くなっている。中学校の数学においては，無解答率の明確な差は見られなかった。

7 習熟度別指導と平均正答率との相関

(1) 習熟度別指導実施校と未実施校との比較

学校質問紙から、習熟度別指導を実施している学校と未実施の学校とで、平均正答率を比較した。

平成20年度

小学校		学校数	国語A	国語B	学校数	算数A	算数B
H20	実施	32校	63.7%	48.7%	151校	69.4%	49.2%
	未実施	381校	63.5%	48.9%	263校	69.5%	49.3%
岡山県		413校	63.5%	48.9%	413校	69.5%	49.3%

中学校		学校数	国語A	国語B	学校数	数学A	数学B
H20	実施	14校	74.5%	60.3%	54校	62.5%	48.1%
	未実施	147校	73.1%	58.8%	109校	61.5%	47.6%
岡山県		158校	73.2%	58.8%	158校	61.7%	47.7%

実施学校数が少ないが、中学校においては、習熟度別指導を実施している学校は実施していない学校より、平均正答率が高い傾向にある。

平成19年度

小学校		学校数	国語A	国語B	学校数	算数A	算数B
H19	実施	118校	80.5%	59.9%	308校	80.7%	61.8%
	未実施	299校	80.7%	60.7%	109校	80.3%	61.8%
岡山県		417校	80.6%	60.0%	417校	80.5%	61.8%

中学校		学校数	国語A	国語B	学校数	数学A	数学B
H19	実施	62校	83.1%	71.4%	118校	72.5%	59.4%
	未実施	91校	81.3%	69.3%	35校	69.9%	56.9%
岡山県		153校	81.9%	70.0%	153校	71.9%	58.8%

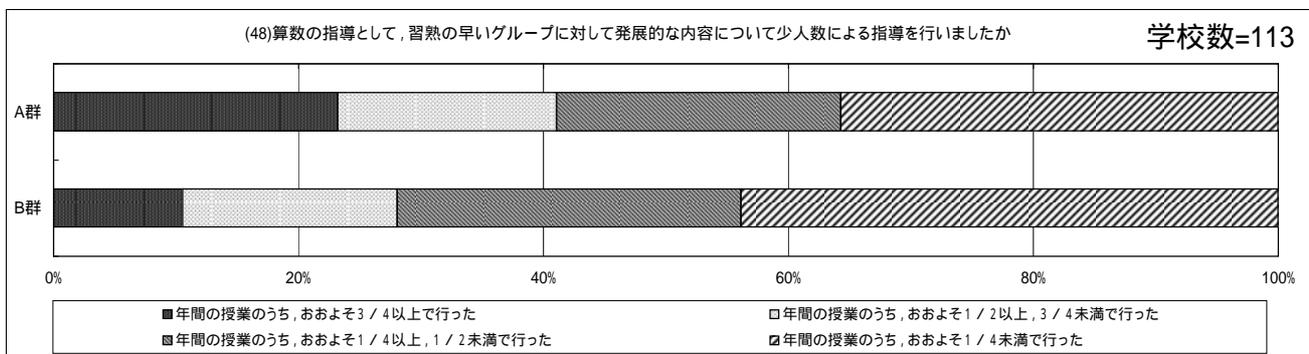
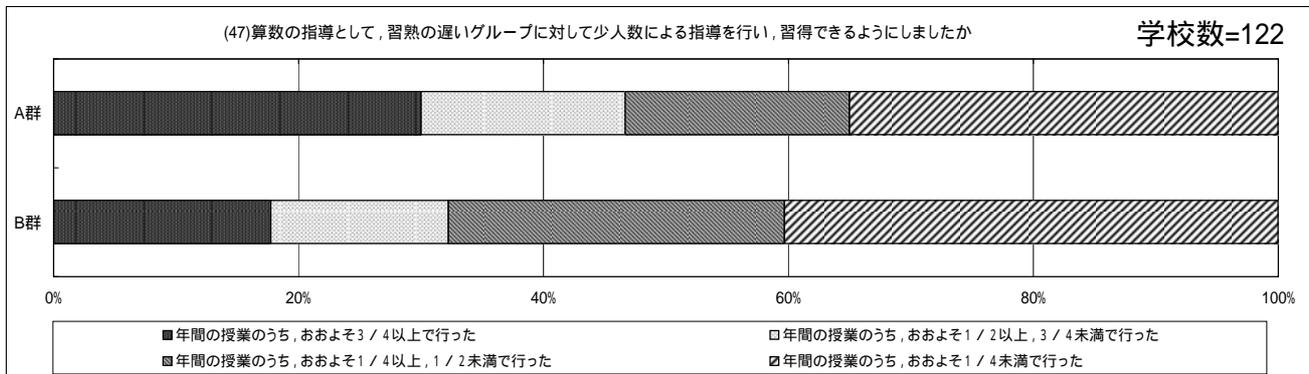
中学校においては、習熟度別指導を実施している学校は実施していない学校より、平均正答率が高い傾向にある。

* 平成20年度の実施学校数が19年度に比べて少ないのは、平成20年度の学校質問紙に「少人数による指導とは、学級を複数の学習集団に分け、それぞれを別の教員が指導するケースである」と注意書きが追加されたためである。(19年度は、学級を班に分けて同じ内容の指導を一人の教員が行う等の場合も含まれている。)

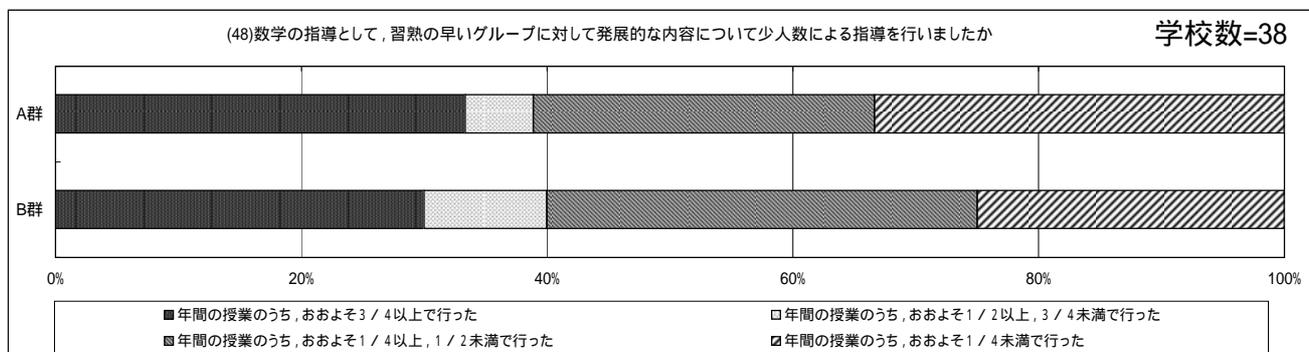
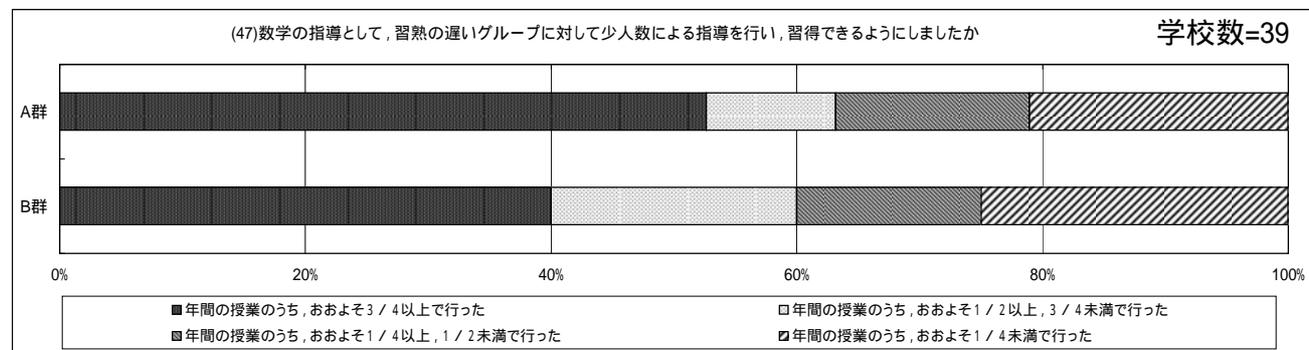
(2) 習熟度別指導実施校における状況

習熟度別指導を実施している学校において、平均正答率の上位・下位それぞれ50%の集団をA群・B群とし、習熟度別指導の実施割合を比較した。

小学校・算数



中学校・数学



小学校では、平均正答率が高い学校ほど、習熟度別指導を積極的に行っている。中学校では、母数が少ないため、明確には言えないが、平均正答率が高い学校ほど、習熟の遅いグループ に対して、少人数による指導を行っている。習熟の早いグループ に対しての指導と平均正答率との相関は明確に出ていない。

学力向上の取組

1 第一次発表で公表した取組

(1) 岡山県学力向上アクションプラン

学力向上検討委員会

・岡山県学力向上アクションプランの実施状況の検証，調査結果の分析，課題や対策の検討

授業改革支援事業

・研究指定校(小・中18校)による実践研究

・授業改革協力員100名による実践研究

・各地域で実施する授業研究会の支援(大学教官・指導主事の派遣)

・算数・数学アドバイザーの派遣

・学習支援のための素材集の募集(Webページに掲載)

学習到達度確認テストシステム(9月1日から開始)

(2) 児童生徒向け自学自習力を高めるための「学習の手引き」の作成

(3) 児童生徒が，学校で落ち着いて学習ができるような環境整備をするため，授業改革の取組とともに生徒指導上の課題のある学校への支援策を検討

2 新たに加えた取組

(1) 保護者向け家庭教育ハンドブックの作成

(2) 習熟度別指導に関する事例集の作成